



2年

やさしい^{かんじ}漢字プリント (やさしい文字順)

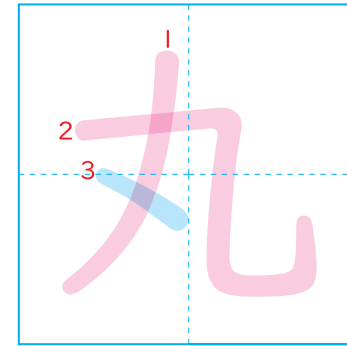
プリント	かん字	チェック	プリント	かん字	チェック	プリント	かん字	チェック	プリント	かん字	チェック	プリント	かん字	チェック	プリント	かん字	チェック	プリント	かん字	チェック	プリント	かん字	チェック
1	丸		21	肉		41	会		61	売		81	黒		101	岩		121	教		141	園	
2	点		22	魚		42	回		62	買		82	野		102	明		122	室		142	公	
3	刀		23	友		43	光		63	毎		83	理		103	高		123	組		143	近	
4	切		24	広		44	星		64	海		84	黄		104	長		124	絵		144	遠	
5	分		25	台		45	言		65	心		85	紙		105	首		125	間		145	週	
6	才		26	半		46	寺		66	思		86	画		106	直		126	間		146	船	
7	万		27	父		47	時		67	考		87	用		107	前		127	晴		147	場	
8	方		28	母		48	自		68	帰		88	原		108	後		128	風		148	市	
9	元		29	兄		49	池		69	春		89	国		109	午		129	雪		149	新	
10	今		30	姉		50	地		70	夏		90	語		110	朝		130	雲		150	古	
11	多		31	妹		51	当		71	秋		91	計		111	昼		131	強		151	電	
12	少		32	弟		52	同		72	冬		92	工		112	夜		132	弱		152	話	
13	太		33	牛		53	行		73	汽		93	算		113	茶		133	答		153	楽	
14	細		34	馬		54	来		74	形		94	数		114	麦		134	角		154	京	
15	戸		35	鳥		55	走		75	社		95	図		115	家		135	北		155	歌	
16	止		36	鳴		56	歩		76	声		96	活		116	知		136	南		156	線	
17	内		37	弓		57	作		77	体		97	科		117	書		137	西		157	親	
18	外		38	矢		58	食		78	谷		98	合		118	記		138	東		158	頭	
19	毛		39	引		59	店		79	色		99	交		119	読		139	番		159	顔	
20	米		40	羽		60	門		80	里		100	何		120	通		140	道		160	曜	



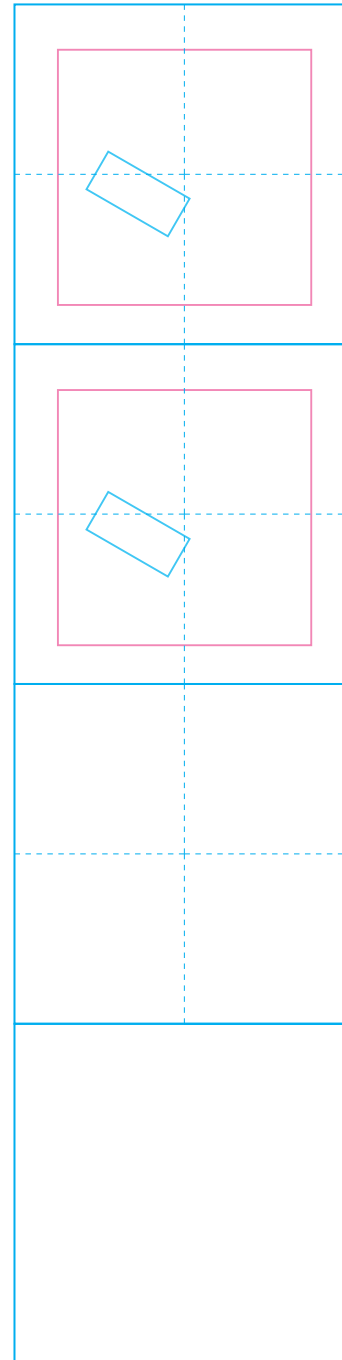
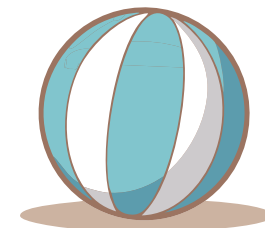
かん字の れんしゅう 1 「丸」

なまえ

ゆっくり ていねいに、わくの 中なかに 書かきましょう。

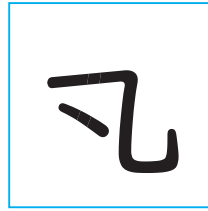


・ 丸まるを つける。
・ 丸まるい 玉たま。



かん字の かけて いる ぶぶんを 書かきましょう。

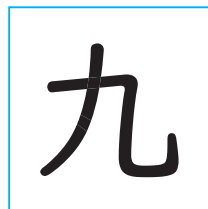
まる



い

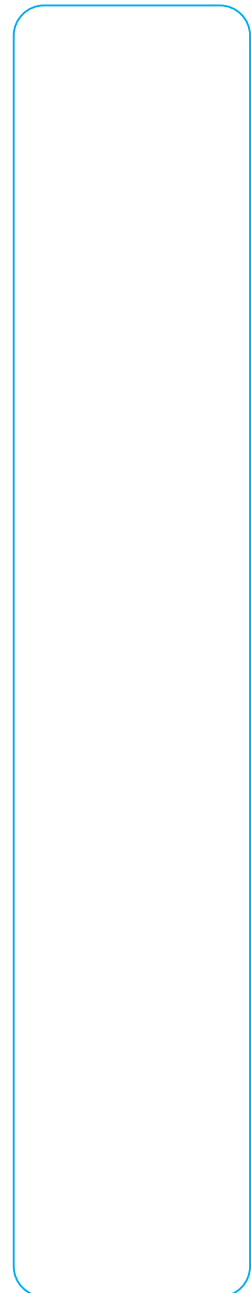


い



い

かん字を つかった ことばや 文ぶんを 書かきましょう。

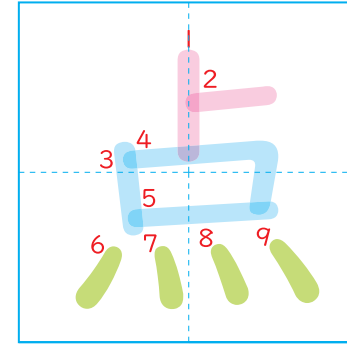




かん字の
れんしゅう2
「点」

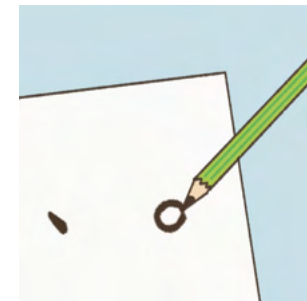
なまえ

ゆっくり
ていねいに、
わくの
中に
書きましよう。

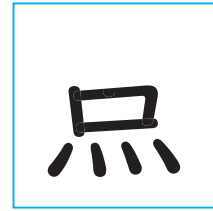


点^{てん}
と

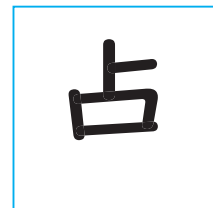
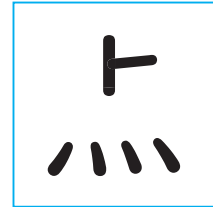
丸^{まる}
。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましよう。



てん



かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましよう。

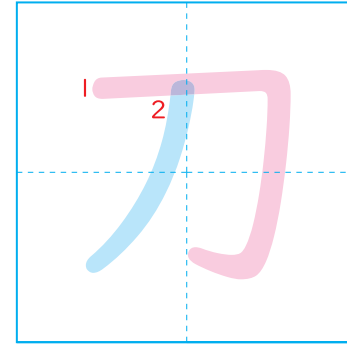


かん字の
れんしゅう3
「刀」

なまえ

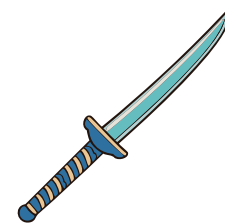


ゆっくり
ていねいに、
わくの
中なかに
書かきましょう。

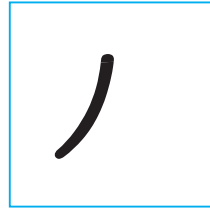


・
むかしの

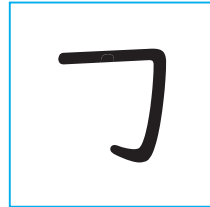
刀。
かたな



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書かきましょう。



かたな



かん字を
つけた
ことばや
文ぶんを
書かきましょう。

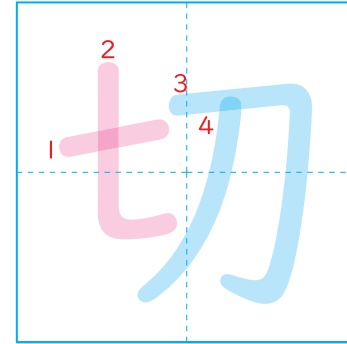


かん字の れんしゅう 4 「切」

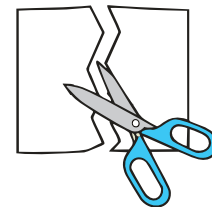
なまえ



ゆっくり ていねいに、わくの 中^{なか}に 書^かきましょう。



- 紙^{かみ}を 切^きる。
- 大^{たい}切^{せつ}な たからもの。



かん字の かけて いる ぶぶんを 書^かきましょう。

大 刀 大 切 大 切



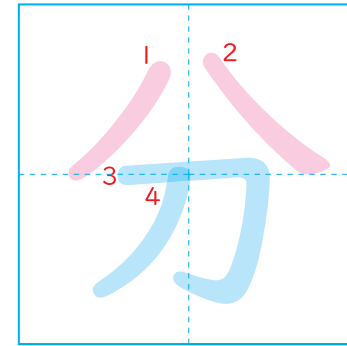
かん字を つかった ことばや 文^{ぶん}を 書^かきましょう。



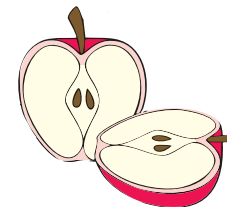
かん字の れんしゅう 5 「分」

なまえ

ゆっくり ていねいに、わくの 中なかに 書かきましょう。



- ・ 五分ごぶん まつ。
- ・ 半分はんぶん に 分わける。



かん字の かけて いる ぶんを 書かきましょう。

ご ぶん

五 刀 五 分 五 分

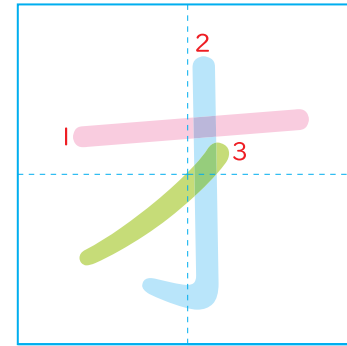
かん字を つかった ことばや 文ぶんを 書かきましょう。



かん字の れんしゅう 6 「オ」

なまえ

ゆっくり ていねいに、わくの 中に 書きましょう。



・ ななさい
セオに なる。



かん字の かけて いる ぶぶんを 書きましょう。

なな さい

セ オ セ フ セ ジ

かん字を つかった ことばや 文を 書きましょう。

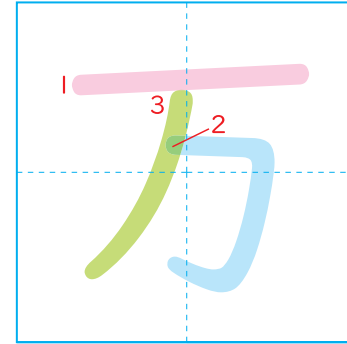
--



かん字の
れんしゅう 7 「万」

なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましよう。



いちまんえん
一万円さつ



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましよう。

いち
まん

一
カ
一
丁
一
万

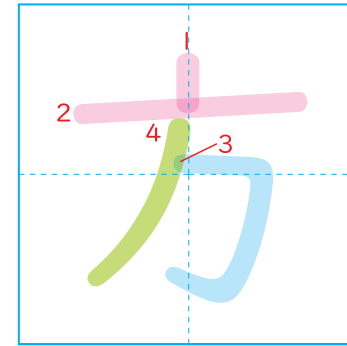
かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましよう。



かん字の れんしゅう 8 「方」

なまえ

ゆっくり ていねいに、わくの 中なかに 書かきましょう。



・ 右みぎの 方ほうを 見みる。
・ 方ゆうがたに なる。



かん字の かけて いる ぶんを 書かきましょう。

ゆう がた

タ

カ

タ

ナ

タ

ナ

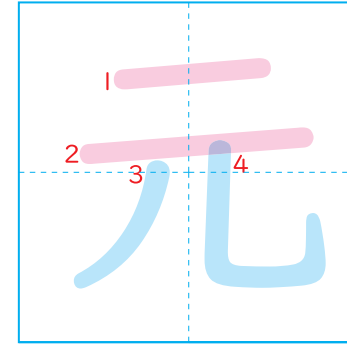
かん字を つかった ことばや 文ぶんを 書かきましょう。



かん字の れんしゅう 9 「元」

なまえ

ゆっくり ていねいに、わくの 中^{なか}に 書^かきましょう。



・ 元^{げん}氣^きに なる。



かん字の かけて いる ぶぶんを 書^かきましょう。

げん き

元 氣 元 氣 二 氣

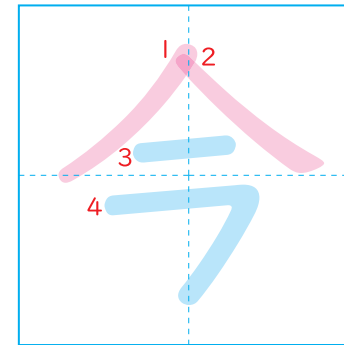
かん字を つかった ことばや 文^{ぶん}を 書^かきましょう。



かん字の
れんしゅう 10 「今」

なまえ

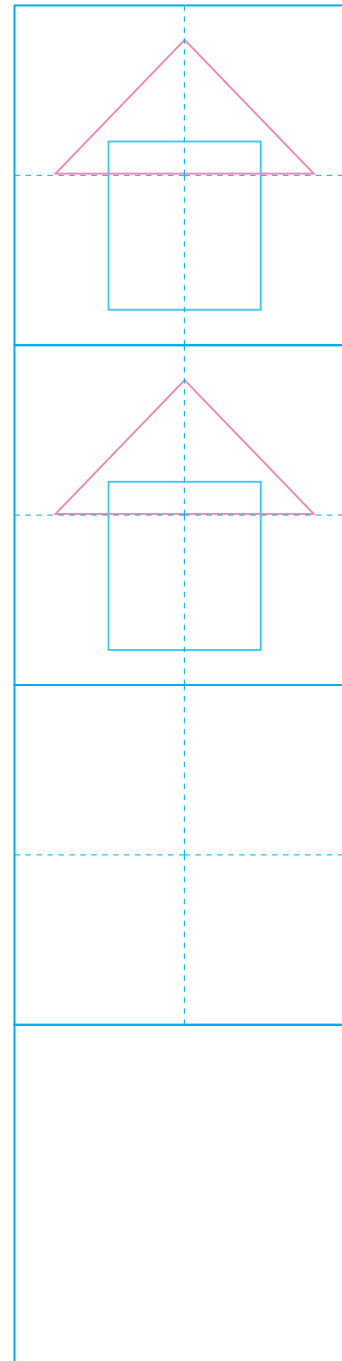
ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましよう。



・ 今^{いま}と
むかし。

・ 今^{こんげつ}月の
よてい。

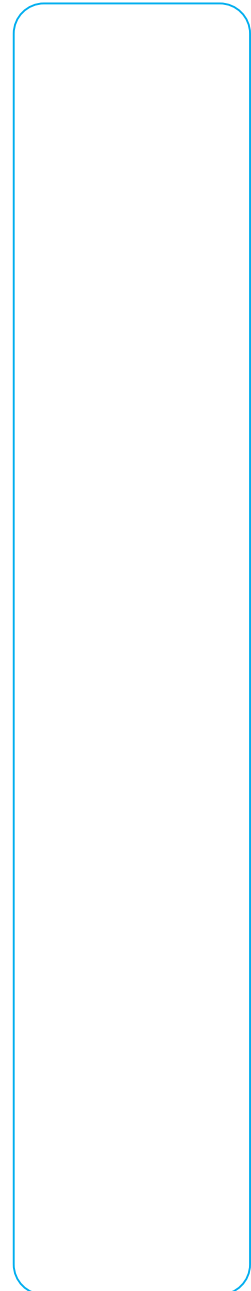
9月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましよう。



かん字を
つけた
ことばや
文^{ぶん}を
書きましよう。

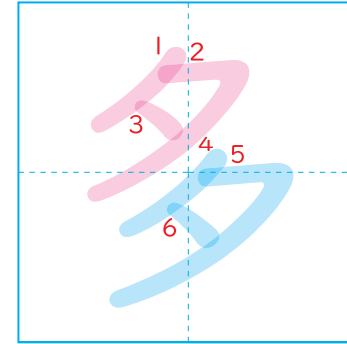




かん字の
れんしゅう 11 「多」

なまえ

ゆっくり ていねいに、わくの 中なかに 書かきましょう。



・ にもつが

多おおい。



かん字の かけて いる ぶんぶんを 書かきましょう。

おお

多

い

多

い

多

い

かん字をつかったことばや 文ぶんを 書かきましょう。

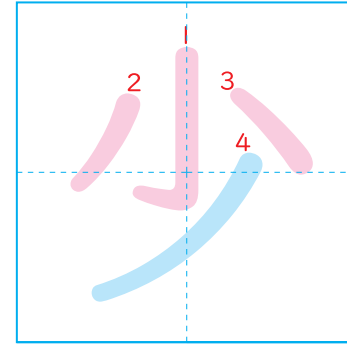


かん字の れんしゅう 12 「少」

なまえ



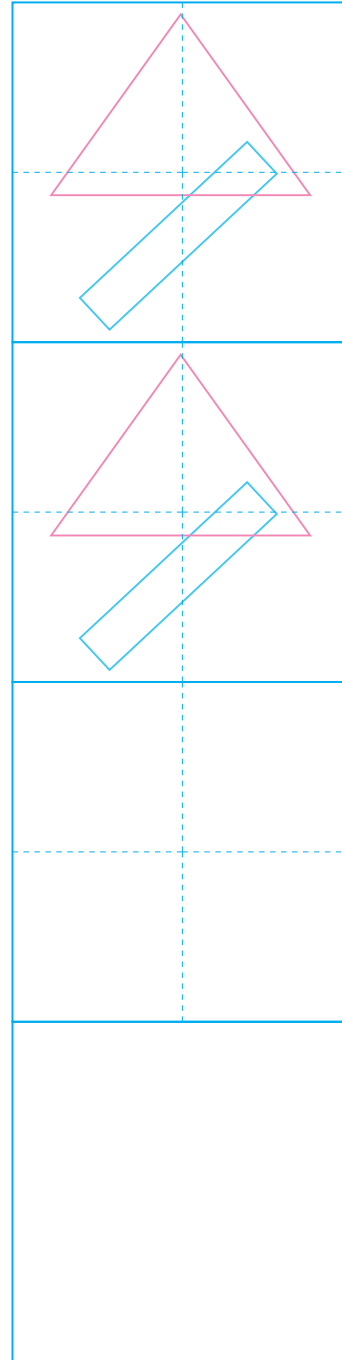
ゆっくり ていねいに、わくの 中^{なか}に 書^かきましょう。



・ にもつが 少^{すく}ない。



・ 少^{すこ}し 小^{ちい}さい。 ・ 少^{しょうねん}年



かん字の か^かけて いる ぶ^ぶぶ^んを 書^かきましょう。

しょう ねん

少 年

少 年

小 年

年



かん字を つかった ことばや 文^{ぶん}を 書^かきましょう。

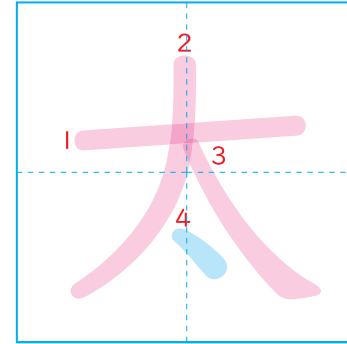


かん字の
れんしゅう 13 「太」

なまえ



ゆっくり ていねいに、わくの 中なかに 書かきましょう。



・ 太ふとい 木き。
・ 丸まる太たを 切きる。



かん字の かけて いる ぶぶんを 書かきましょう。



ふと



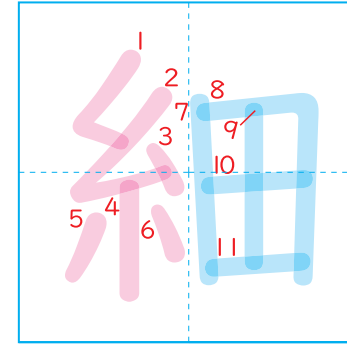
かん字を つかった ことばや 文ぶんを 書かきましょう。



かん字の
れんしゅう 14
【細】

なまえ

ゆっくり ていねいに、わくの 中なかに 書かきましょう。



・
細ほそ
い
木き。



かん字の かけて いる ぶぶんを 書かきましょう。

ほそ

小田

い

細

い

糸

い

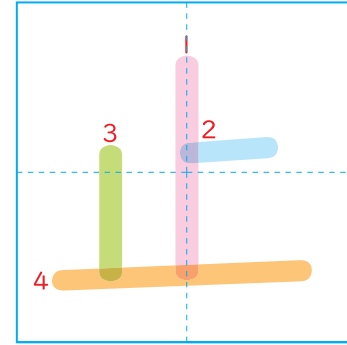
かん字をつかったことばや 文ぶんを 書かきましょう。



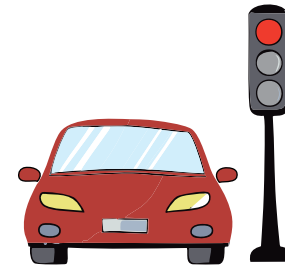
かん字の
れんしゅう 16 「止」

なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましょう。



- くるま
車
が
と
止まる。
- たちい
立ち入り
きんし
止



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましょう。

と
まる
上
まる
止
まる

かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましょう。

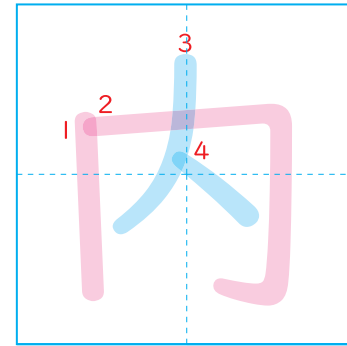


かん字の
れんしゅう 17 「内」

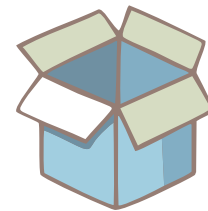
なまえ



ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましょう。



・はこの
内がわ。
・町内のおまつり。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましょう。



がわ



がわ



がわ



かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましょう。

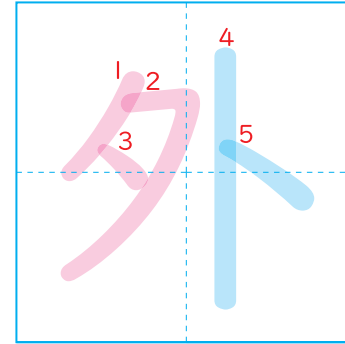


かん字の
れんしゅう 18 「外」

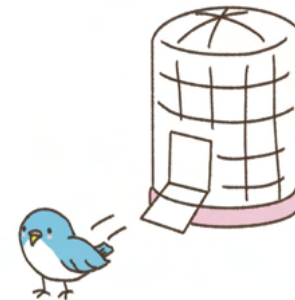
なまえ



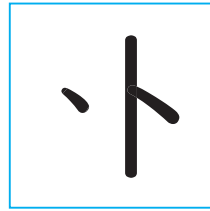
ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましよう。



- ・ 外そとに出る。
で
- ・ 外がいしゅつ出をする。
しゅつ



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましよう。



そと



かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましよう。

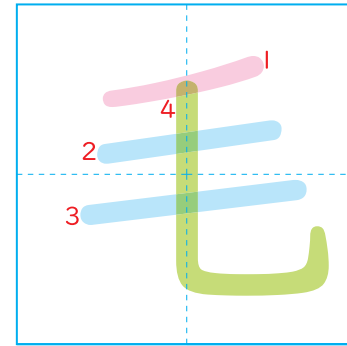


かん字の
れんしゅう 19 「毛」

なまえ



ゆっくり
ていねいに、
わくの
中に
書きましよう。



・
毛が
長い。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましよう。

毛

し

三



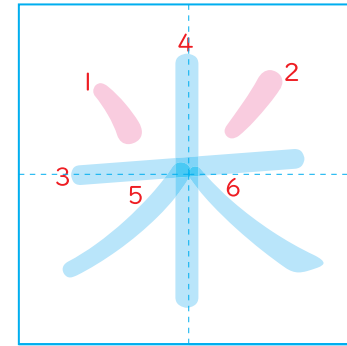
かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましよう。



かん字の れんしゅう 20 「米」

なまえ

ゆっくり ていねいに、わくの 中^{なか}に 書^かきましょう。



・ お米^{こめ}を 買^かう。



かん字の かけて いる ぶんを 書^かきましょう。

こめ

お 木 お 人 お 半

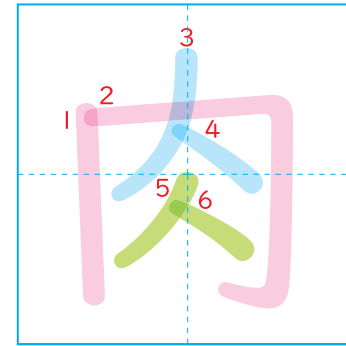
かん字を つかった ことばや 文^{ぶん}を 書^かきましょう。



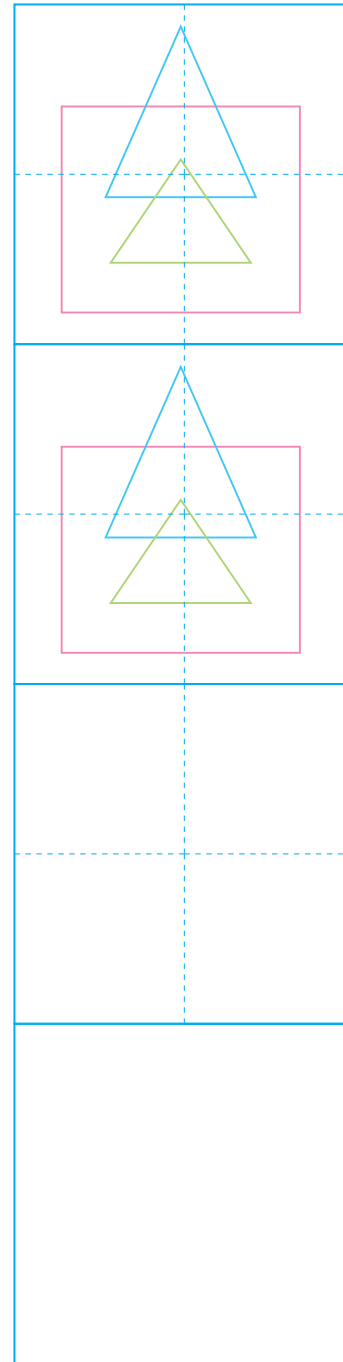
かん字の
れんしゅう 21 「肉」

なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましょう。



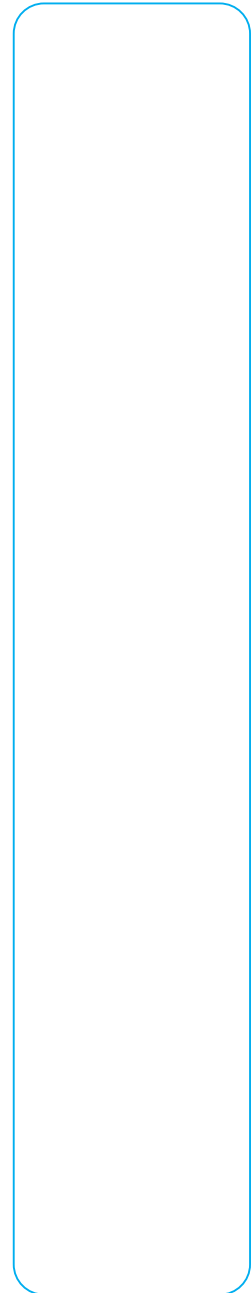
・肉を
買う。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましょう。



かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましょう。



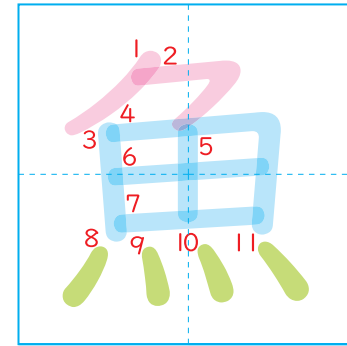


かん字の
れんしゅう 22 「魚」

なまえ

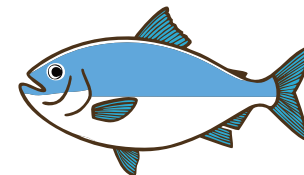


ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましょう。

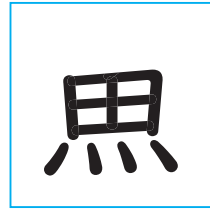


・
大きな

魚。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましょう。



さかな



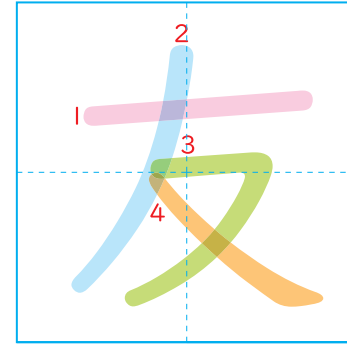
かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましょう。



かん字の れんしゅう 23 「友」

なまえ

ゆっくり ていねいに、わくの 中^{なか}に 書^かきましょう。



・ 友^{とも}だちに なる。
・ 友^{ゆうじん}人に 会^あう。



かん字の かけて いる ぶぶんを 書^かきましょう。

とも

友^{とも}だち
又^{また}だち
ナ^なだち

かん字を つかった ことばや 文^{ぶん}を 書^かきましょう。

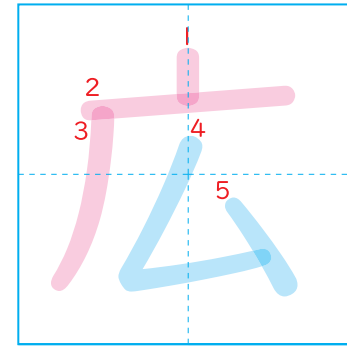
--



かん字の
れんしゅう 24 「広」

なまえ

ゆっくり ていねいに、わくの 中なかに 書かきましょう。



・
広ひろ
い
にわ。



かん字の かけて いる ぶぶんを 書かきましょう。

ひろ

広

い

ム

い

戸

い

かん字をつかったことばや 文ぶんを 書かきましょう。

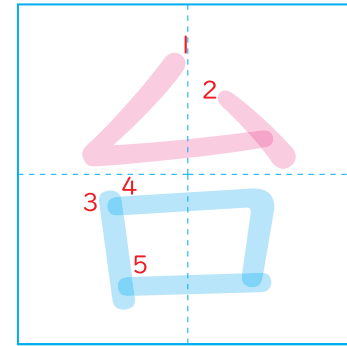
--



かん字の
れんしゅう 25 「台」

なまえ

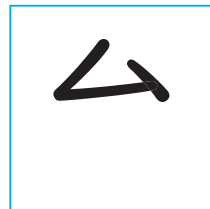
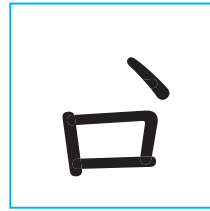
ゆっくり ていねいに、わくの 中に 書きましょう。



・ 台に のる。
・ 台風が くる。



かん字の かけて いる ぶぶんを 書きましょう。



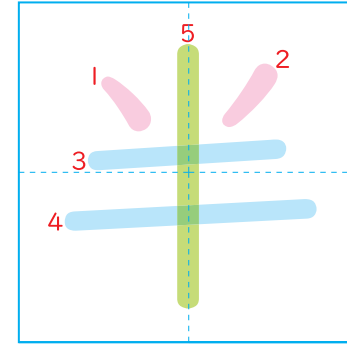
かん字を つかった ことばや 文を 書きましょう。



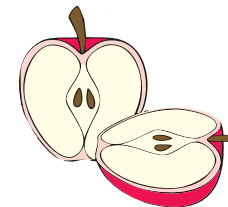
かん字の
れんしゅう 26 「半」

なまえ

ゆっくり ていねいに、わくの 中に 書きましょう。



・ 半分には 分ける。



かん字の かけて いる ぶんを 書きましょう。

はん
ぶん

半
分
半
分
半
分

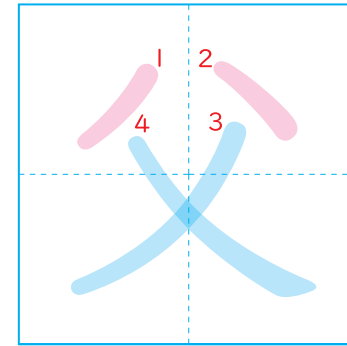
かん字を つかった ことばや 文を 書きましょう。



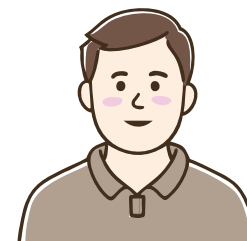
かん字の
れんしゅう 27 「父」

なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましょう。



父の
名前。
お父さん



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましょう。



ちち



かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましょう。

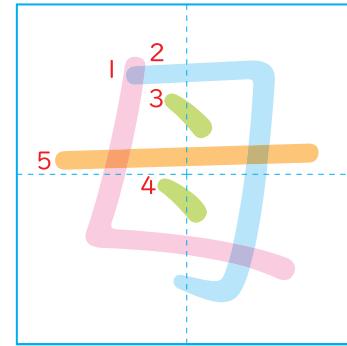


かん字の
れんしゅう 28
【母】

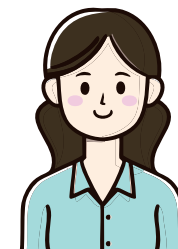
なまえ



ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましよう。



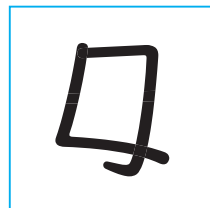
母の
名前。
お母さん
かあ



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましよう。



はは



かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましよう。

Blank area for writing practice.

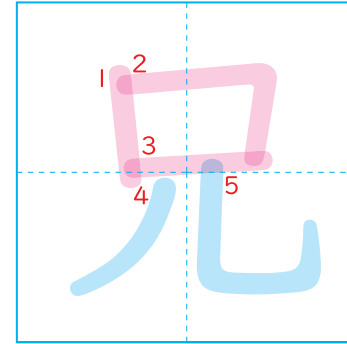


かん字の
れんしゅう 29 「兄」

なまえ



ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましょう。



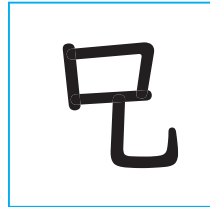
・兄^{あに}の
ふく。

・お兄^{にい}さん

・兄^{きょうだい}弟



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましょう。



かん字を
つけた
ことばや
文^{ぶん}を
書きましょう。

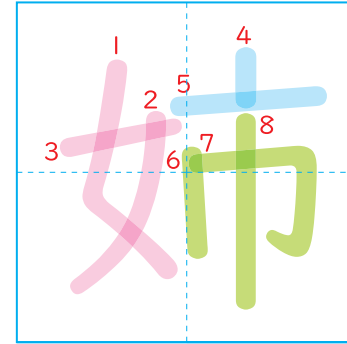


かん字の
れんしゅう 30
【姉】

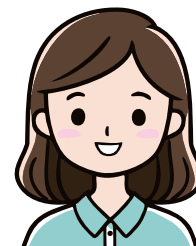
なまえ



ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましよう。



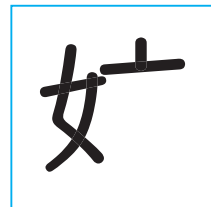
姉のくつ。
お姉さん



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましよう。



あね



かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましよう。

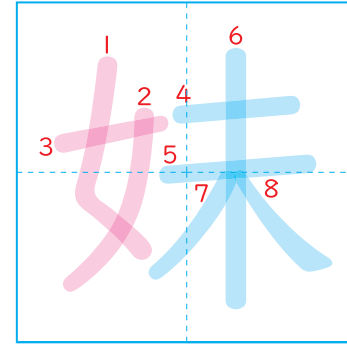
Blank area for writing practice.



かん字の
れんしゅう 31 「妹」

なまえ

ゆっくり ていねいに、わくの 中なかに 書かきましょう。



・
妹いもうとの おもちや。



かん字の かけて いる ぶんぶんを 書かきましょう。

未いもうと

妹

姉

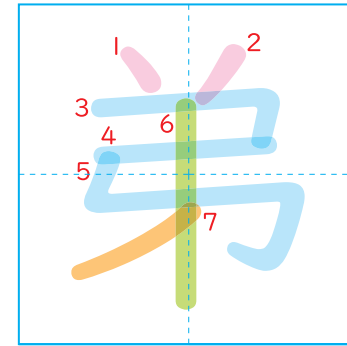
かん字を つかった ことばや 文ぶんを 書かきましょう。



かん字の
れんしゅう 32 「弟」

なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中なかに
書かきましょう。



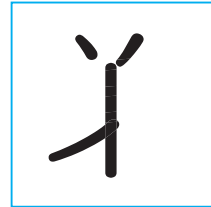
・ おとうと
弟の
本ほん。
・ きょうだい
兄弟



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書かきましょう。



おとうと



かん字を
つけた
ことばや
文ぶんを
書かきましょう。

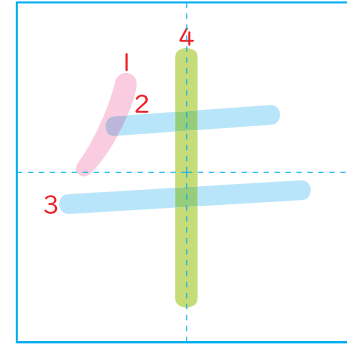


かん字の
れんしゅう 33 「牛」

なまえ

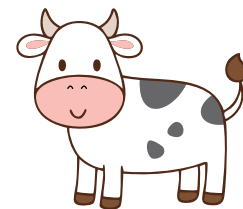


ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましょう。

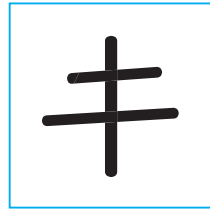


・牛が
いる。

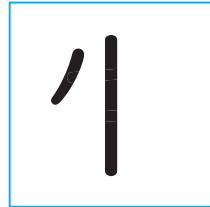
・牛にゆうを
のむ。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましょう。



うし



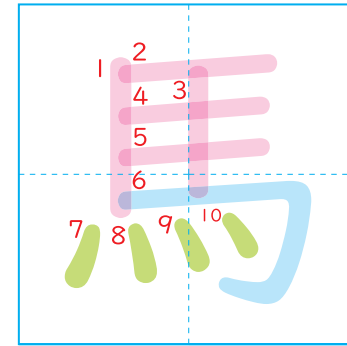
かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましょう。



かん字の
れんしゅう 34 「馬」

なまえ

ゆっくり ていねいに、わくの中なかに書かきましょう。



馬うまが走る。

馬車ばしゃにのる。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書かきましょう。

馬

うま

馬

馬

かん字を
つけた
ことばや
文ぶんを
書かきましょう。

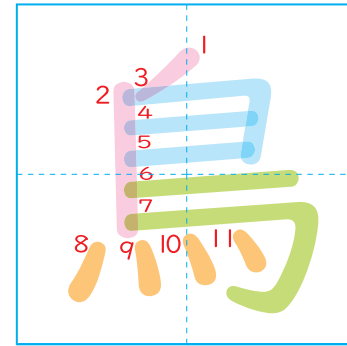


かん字の
れんしゅう 35
【鳥】

なまえ

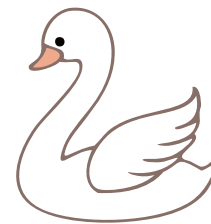


ゆっくり ていねいに、わくの 中なかに 書かきましょう。



・ 鳥とりが とぶ。

・ きれいな 白鳥はくちよう。





かん字の かけて いる ぶぶんを 書かきましょう。



とり



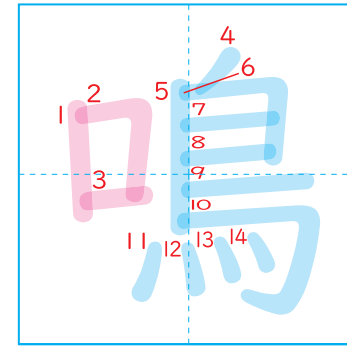
かん字を つかった ことばや 文ぶんを 書かきましょう。



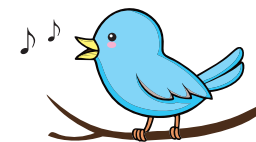
かん字の
れんしゅう 36 「鳴」

なまえ

ゆっくり ていねいに、わくの 中なかに 書かきましょう。



・ 鳥とりが 鳴なく。



かん字の かけて いる ぶぶんを 書かきましょう。

鳥な
く
口く
く
鳴
く

かん字を つかった ことばや 文ぶんを 書かきましょう。

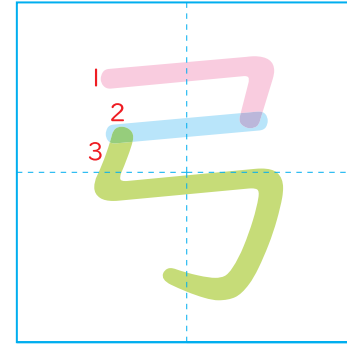


かん字の
れんしゅう 37
【弓】

なまえ



ゆっくり
ていねいに、
わくの
中なかに
書かきましょう。



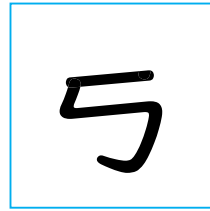
・
弓ゆみ
を

引ひ
く。

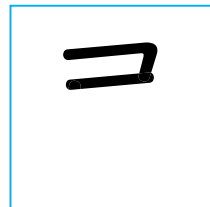
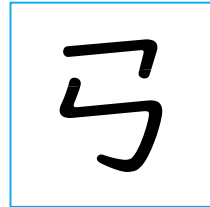




かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書かきましょう。



ゆみ



かん字を
つけた
ことばや
文ぶんを
書かきましょう。

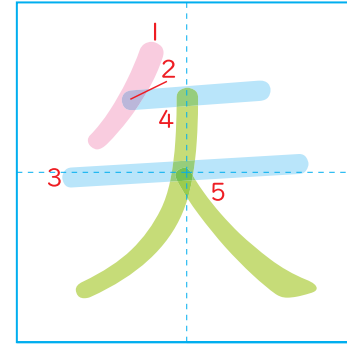


かん字の
れんしゅう 38
「矢」

なまえ

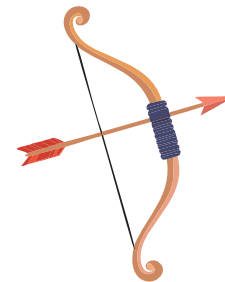


ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましょう。



・むかしの

弓矢。
ゆみや



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましょう。

天

や

久

亼



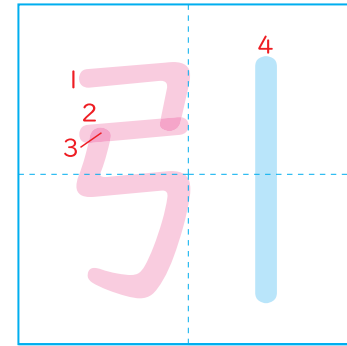
かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましょう。



かん字の
れんしゅう 39
「引」

なまえ

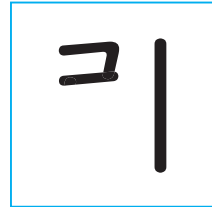
ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましよう。



つなを
引く。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましよう。



かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましよう。

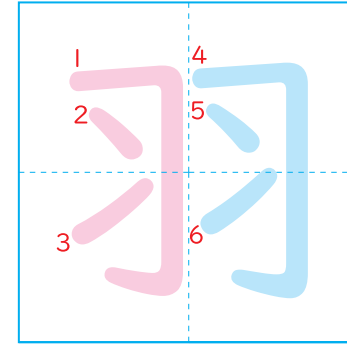


かん字の
れんしゅう 40
【羽】

なまえ



ゆっくり
ていねいに、
わくの
中に
書きましよう。



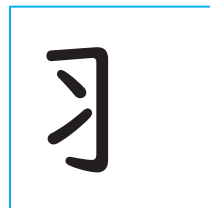
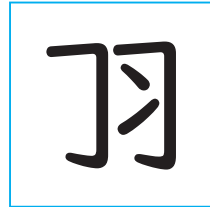
・ 鳥の
羽。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましよう。



はね



かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましよう。

Blank area for writing practice.

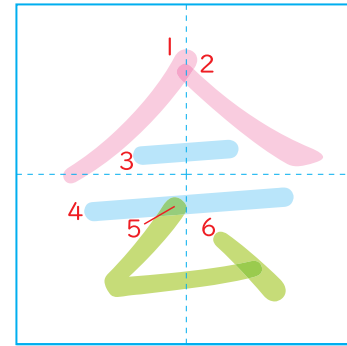


かん字の れんしゅう 41 「会」

なまえ



ゆっくり ていねいに、わくの 中^{なか}に 書^かきましょう。



・ 人^{ひと}に 会^あう。
・ おたのしみ会^{かい}



かん字の かけて いる ぶん^{ぶん}を 書^かきましょう。

云^あ

う

ム

う

今

う



かん字を つかった ことばや 文^{ぶん}を 書^かきましょう。

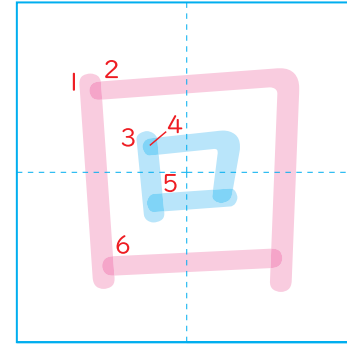


かん字の
れんしゅう 42 〔回〕

なまえ



ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましよう。



・さんかい
三回
書く。

・こまを
回す。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましよう。

三	さん
回	かい
三	
口	
三	
回	かい



かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましよう。

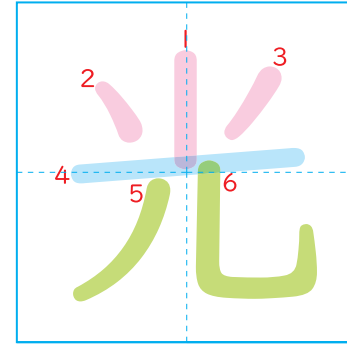


かん字の
れんしゅう 43 「光」

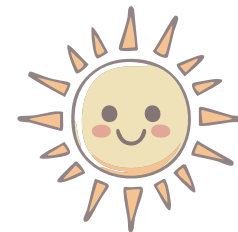
なまえ



ゆっくり ていねいに、わくの 中なかに 書かきましょう。



・ お日ひさまの 光ひかり。
・ 日にっ光こうが まぶしい。



かん字の かけて いる ぶんを 書かきましょう。

元

光

光



かん字を つかった ことばや 文ぶんを 書かきましょう。

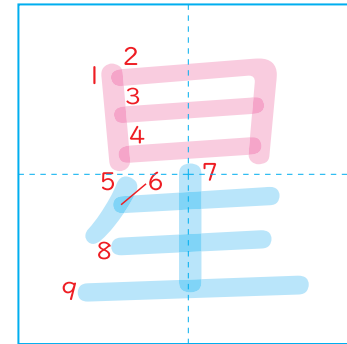


かん字のれんしゅう 44 【星】

なまえ



ゆっくり
ていねいに、
わくの
中^{なか}に
書^かきましたよう。

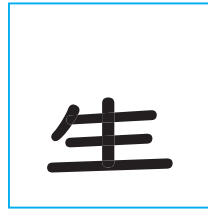


●
星ほし
が

光^ひ
る。



かん字じの
かけて
いる
ぶぶんを
書きかましよう。



かん字^じをつかったことばや文^{ぶん}を書^かきました。

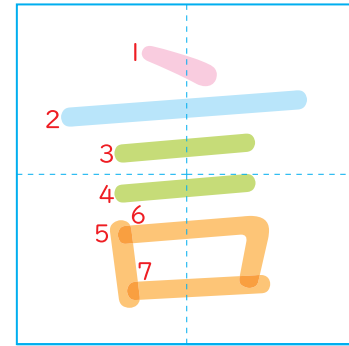


かん字の
れんしゅう 45 「言」

なまえ



ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましょう。



・ 名前を
言う。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましょう。

言

い

う

ト

ロ

う

言



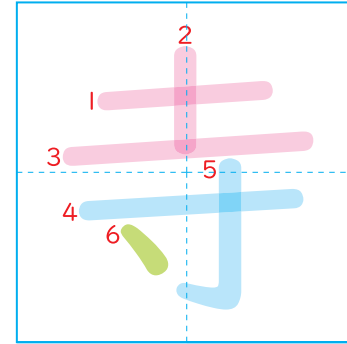
かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましょう。



かん字の
れんしゅう 46
「寺」

なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましよう。



・ 大きな
お寺。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましよう。

てら

お

寸

お

寺

お

寺

かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましよう。

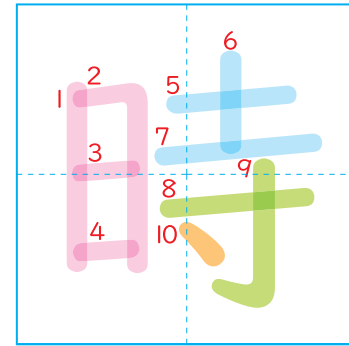
--



かん字の
れんしゅう 47 「時」

なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましょう。



・六時に
おきる。

・時が
たつ。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましょう。

ろく
じ

六
寺
六
時
六
時

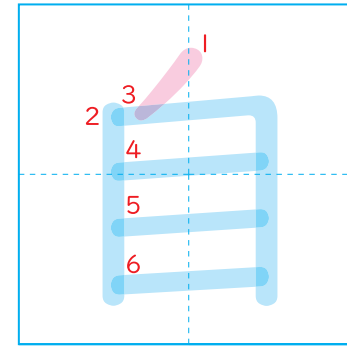
かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましょう。



かん字の
れんしゅう 48 「目」

なまえ

ゆっくり ていねいに、わくの 中に 書きましょう。



・ 自分の 名前。

・ 自ぜんを まもる。



かん字の かけて いる ぶんぶんを 書きましょう。

じ ぶん

目 分 分 分 分

かん字を つかった ことばや 文を 書きましょう。

--

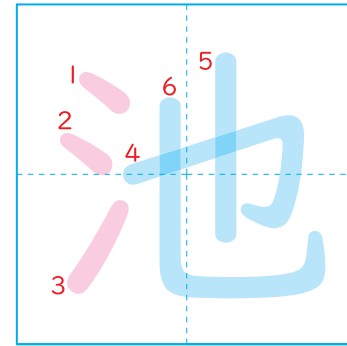


かん字の
れんしゅう
49
【池】

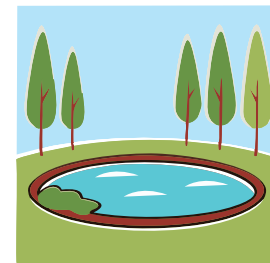
なまえ



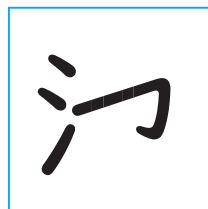
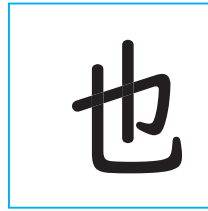
ゆっくり
ていねいに、
わくの
中^{なか}に
書^かきましたよう。



・ 小さい池



かん字じの
かけて
いる
ぶぶんを
書きかましよう。



かん字^じをつかったことばや文^{ぶん}を書^かきました。

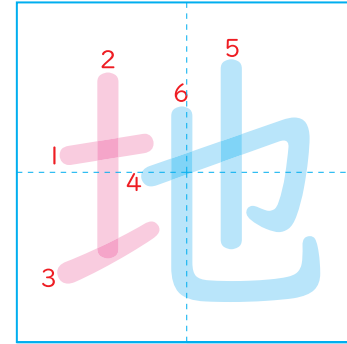


かん字の れんしゅう 50 「地」

なまえ



ゆっくり ていねいに、わくの 中なかに 書かきましょう。



- ・ 地じしんが くる。
- ・ せかい 地ち図ずを 見みる。



かん字の かけて いる ぶぶんを 書かきましょう。

ち ず

也

図

地

図

切

図



かん字を つかった ことばや 文ぶんを 書かきましょう。

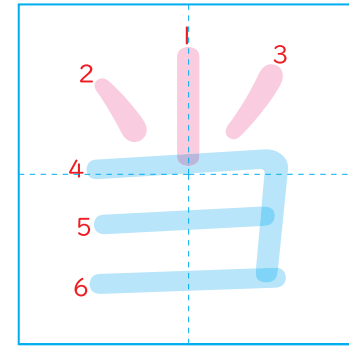


かん字の
れんしゅう 51 「当」

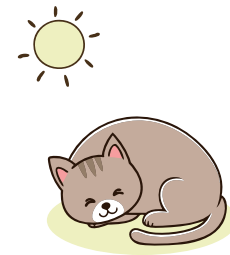
なまえ



ゆっくり ていねいに、わくの 中なかに 書かきましょう。



・ 日ひが 当あたる。
・ 本ほん当とうの 話はなし。



かん字の かけて いる ぶんを 書かきましょう。

当

あ

たる

当

たる

当

たる



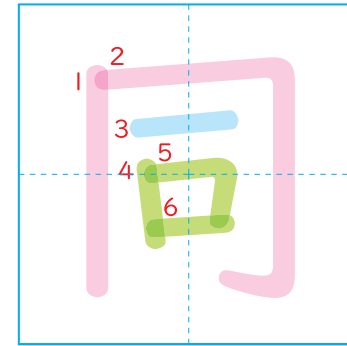
かん字を つかった ことばや 文ぶんを 書かきましょう。



かん字の
れんしゅう 52 「同」

なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましよう。



・ 同
おな
じ
ぼうし。

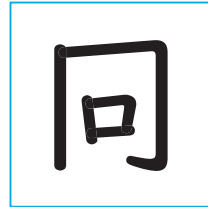


かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましよう。

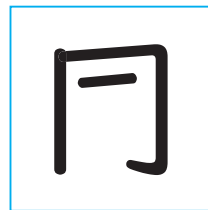
おな



じ



じ



じ

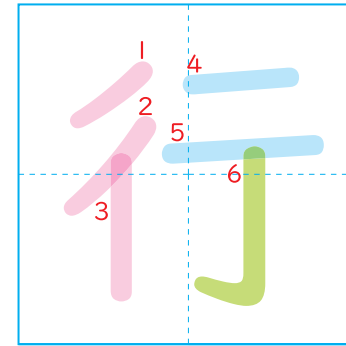
かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましよう。



かん字の
れんしゅう 53
「行」

なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましょう。



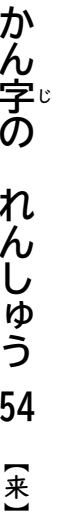
・学校に
行く。



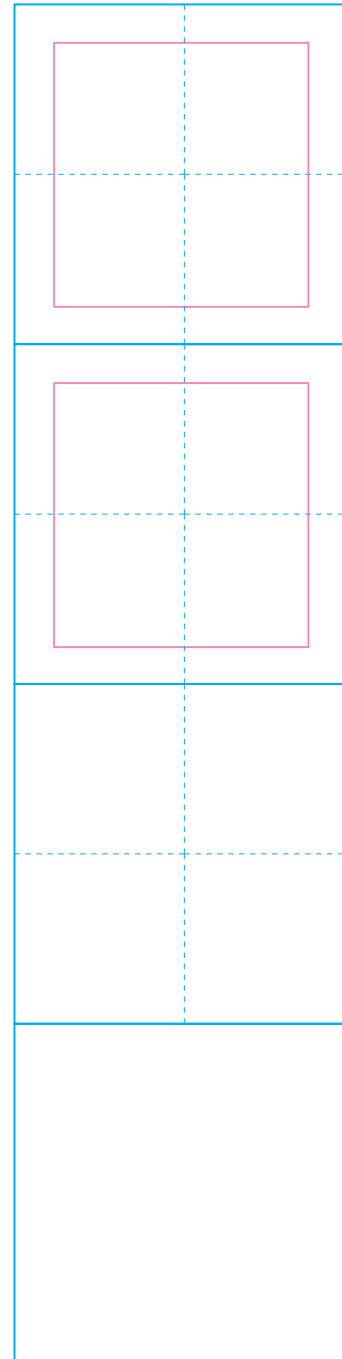
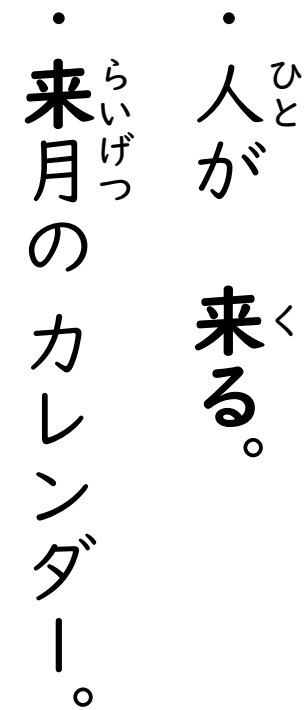
かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましょう。

てい
く
行く
行く

かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましょう。



ゆっくり
ていねいに、
わくの
中^{なか}に
書^かきましょう。



かん字じの
かけて
いる
ぶぶんを
書かきましょう。

米
る
未
る
𠂔
る

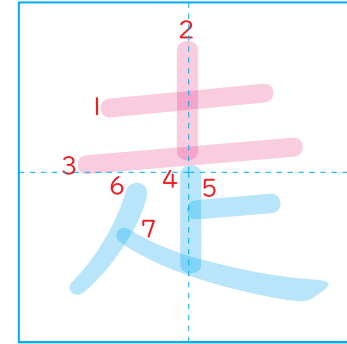
かん^じ字をつかったことばや文^{ぶん}を書^かきましよう。



かん字の
れんしゅう 55 「走」

なまえ

ゆっくり ていねいに、わくの 中なかに 書かきましょう。



・ 犬いぬが

走はしる。



かん字の かけて いる ぶんぶんを 書かきましょう。

はし

止

る

走

る

止

る

かん字を つかった ことばや 文ぶんを 書かきましょう。

--

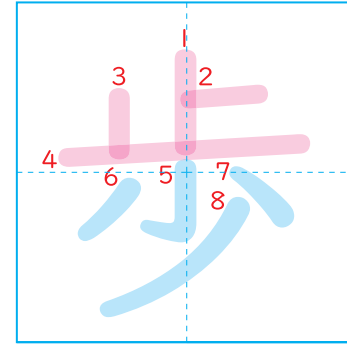


かん字の れんしゅう 56 「歩」

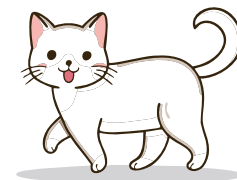
なまえ



ゆっくり ていねいに、わくの 中^{なか}に 書^かきましょう。



・ねこが 歩^{ある}く。



かん字の かけ^て いる ぶん^{ぶん}を 書^かきましょう。

少

く

止

く

歩

く



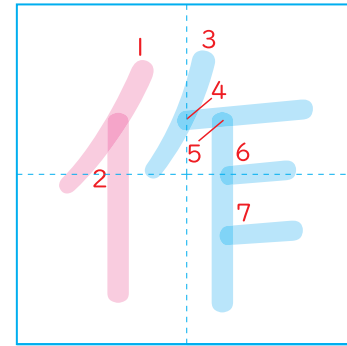
かん字を つかった ことばや 文^{ぶん}を 書^かきましょう。



かん字の
れんしゅう 57 「作」

なまえ

ゆっくり ていねいに、わくの 中なかに 書かきましょう。



・ 文ぶんを 作つくる。
・ 作さくぶん文ぶんを 書かく。



かん字の かけて いる ぶんぶんを 書かきましょう。

作つく
る
作
る
作
る

かん字を つかった ことばや 文ぶんを 書かきましょう。

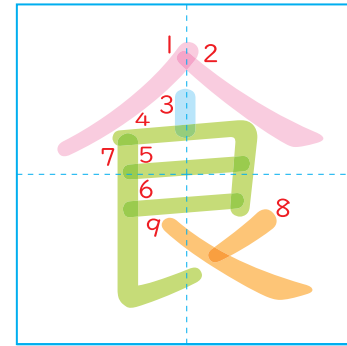


かん字の れんしゅう 58 「食」

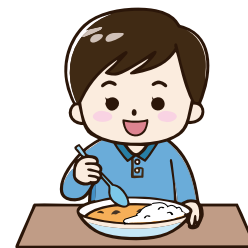
なまえ



ゆっくり ていねいに、わくの 中^{なか}に 書^かきましょう。



・カレーを 食^たべる。
・おいしい 夕^{ゆう}食^{しよく}。



かん字の かけて いる ぶんを 書^かきましょう。

良^た

べる

へ

べる

食

べる



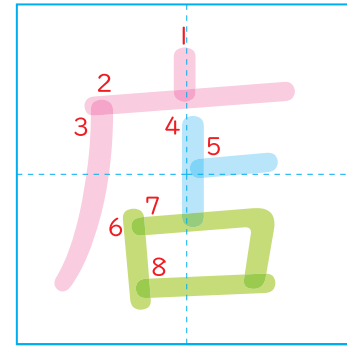
かん字を つかった ことばや 文^{ぶん}を 書^かきましょう。



かん字の
れんしゅう 59 「店」

なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましょう。

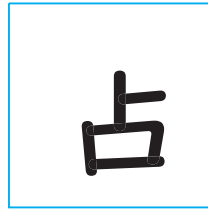


・ 店で 買う。
・ 店内を さがす。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましょう。

みせ



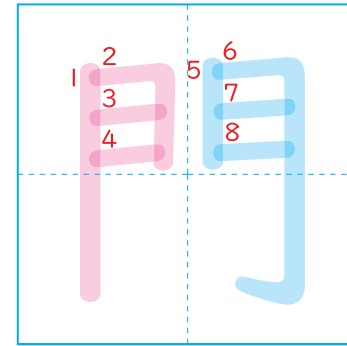
かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましょう。



かん字の
れんしゅう 60
「門」

なまえ

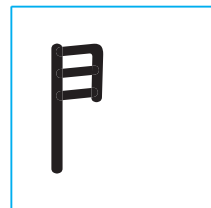
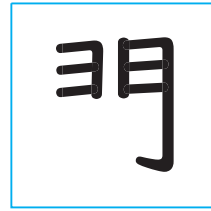
ゆっくり
ていねいに、
わくの
中に
書きましよう。



家の
門。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましよう。



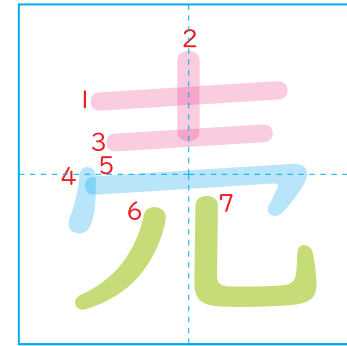
かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましよう。



かん字の
れんしゅう 61 「売」

なまえ

ゆっくり ていねいに、わくの 中^{なか}に 書^かきましょう。



・ パンを 売^うる。
・ えきの 売^{ばい}店^{てん}。



かん字の かけて いる ぶぶんを 書^かきましょう。

う
売^うる
売^うる
売^うる

かん字を つかった ことばや 文^{ぶん}を 書^かきましょう。

--

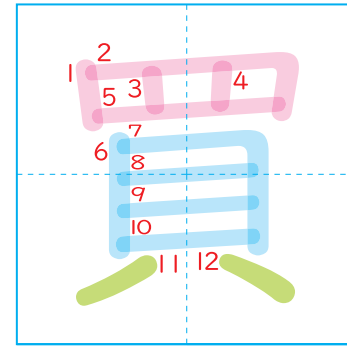


かん字の
れんしゅう 62 「買」

なまえ



ゆっくり ていねいに、わくの 中^{なか}に 書^かきましょう。



・ パンを 買^かう。
・ さかな 魚^{さかな}を 売^{ばいばい}買^{ばいばい}する。



かん字の かけて いる ぶぶんを 書^かきましょう。

貝

か

う

田

ハ

う

冒

う



かん字を つかった ことばや 文^{ぶん}を 書^かきましょう。

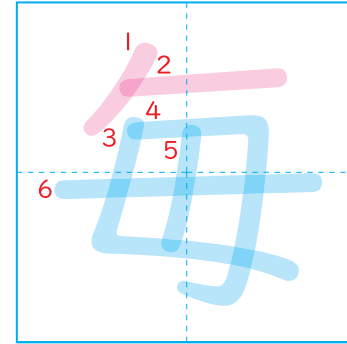


かん字の
れんしゅう 63 「毎」

なまえ



ゆっくり ていねいに、わくの 中なかに 書かきましょう。



・ 毎まいにち日 れんしゅうする。



かん字の かけで いる ぶんを 書かきましょう。

母

まい

日

にち

一

日

毎

日



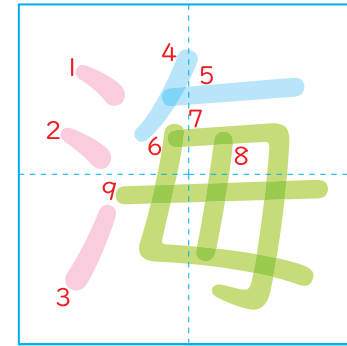
かん字を つかった ことばや 文ぶんを 書かきましょう。



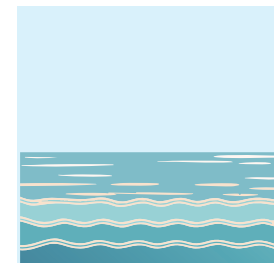
かん字の
れんしゅう 64 「海」

なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中なかに
書かきましょう。



きれいな
海うみ。
海かいが
んを
歩あるく。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書かきましょう。

毎

うみ

海

シ

かん字を
つけた
ことばや
文ぶんを
書かきましょう。

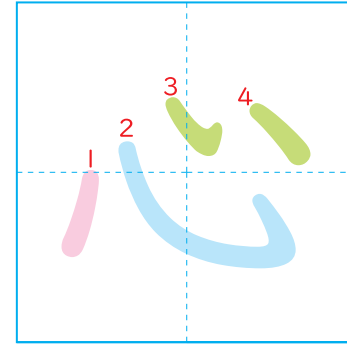


かん字の
れんしゅう 65 「心」

なまえ



ゆっくり ていねいに、わくの 中^{なか}に 書^かきましょう。



・ やさしい 心^{こころ}。
・ 町^{まち}の 中^{ちゅうしん}心^{しん}。



かん字^じの かけて いる ぶんを 書^かきましょう。



こころ



かん字^じを つかった ことばや 文^{ぶん}を 書^かきましょう。

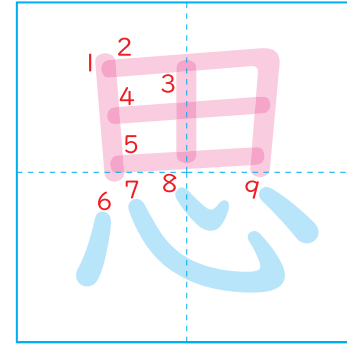


かん字の
れんしゅう 66 「思」

なまえ



ゆっくり ていねいに、わくの 中なかに 書かきましょう。



・うれしいと
思おもう。





かん字の かけて いる ぶぶんを 書かきましょう。

おも

心

う

思

う

思

う



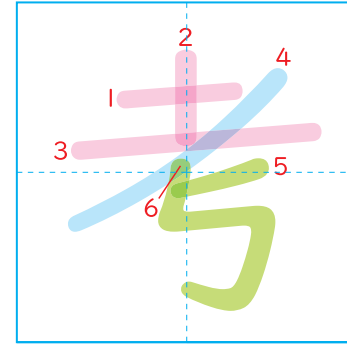
かん字を つかった ことばや 文ぶんを 書かきましょう。



かん字の
れんしゅう 67 「考」

なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましよう。



・ 答^{こた}えを
考^{かん}える。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書^かきましよう。

考^{かん}
える
考^{かん}
える
考^{かん}
える

かん字を
つけた
ことばや
文^{ぶん}を
書^かきましよう。

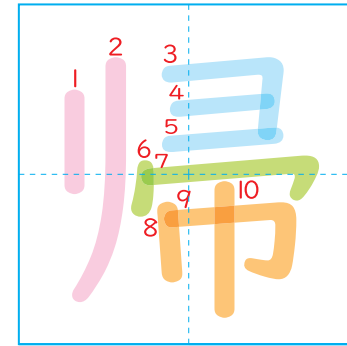


かん字^じの
れんしゅう
68
【帰】

なまえ



ゆっくり
ていねいに、
わくの
中^{なか}に
書^かきましたよう。



いそいで

かえ
帰る。



かん字じの
かけて
いる
ぶぶんを
書きましよう。
かえ



る



る



る



かん字^じをつかったことばや文^{ぶん}を書^かきました。

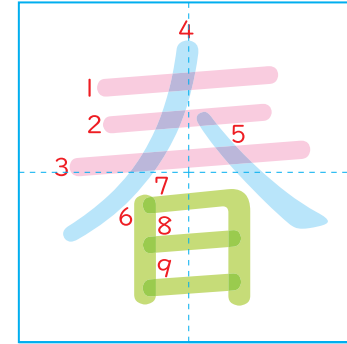


かん字の
れんしゅう
69
【春】

なまえ



ゆっくり
ていねいに、
わくの
中^{なか}に
書^かきましたよう。



・ 春^{はる}になる。



かん字じの
かけて
いる
ぶぶんを
書きかましよう。



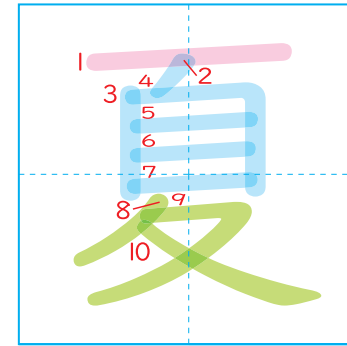
かん字^じをつかったことばや文^{ぶん}を書^かきました。



かん字の
れんしゅう 70
「夏」

なまえ

ゆっくり
ていねいに、
わくの
中に
書きましよう。



・
夏の
海。



□ □ □	□ □ □
□ □ □	□ □ □
□ □ □	□ □ □
□ □ □	□ □ □

かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましよう。

夏

なつ

一
夕

百

かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましよう。

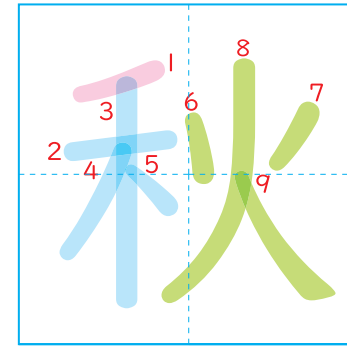
□



かん字の
れんしゅう 71 「秋」

なまえ

ゆっくり
ていねいに、
わくの
中に
書きましょう。



・
秋の
けしき。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましょう。

秋

あき

火

禾

かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましょう。

--

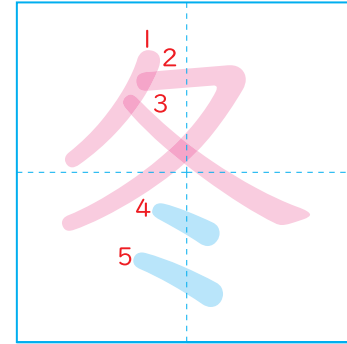


かん字の
れんしゅう 72 「冬」

なまえ



ゆっくり ていねいに、わくの 中^{なか}に 書^かきましょう。



・さむい

冬^{ふゆ}。



かん字の かけて いる ぶんを 書^かきましょう。



ふゆ



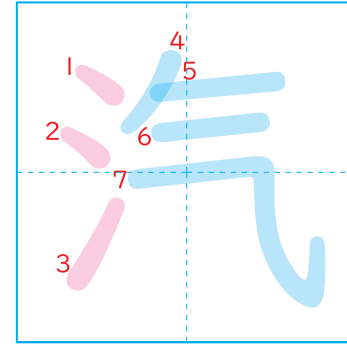
かん字を つかった ことばや 文^{ぶん}を 書^かきましょう。



かん字の
れんしゅう 73 「汽」

なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましょう。



・
汽車が
走る。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましょう。

気
車
汽
車
汽
車

かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましょう。

--

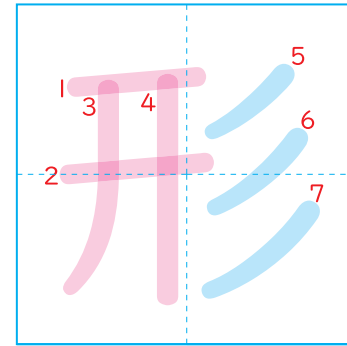


かん字の
れんしゅう 74 「形」

なまえ



ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましよう。



・クッキーの
形。

・人形で
あそぶ。





かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましよう。



かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましよう。

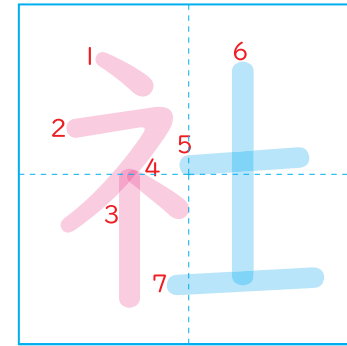
--



かん字の れんしゅう 75 「社」

なまえ

ゆっくり ていねいに、わくの 中^{なか}に 書^かきましょう。



・ 会^{かい}社^{しゃ}で はたらく。



かん字の かけて いる ぶんを 書^かきましょう。

かい しゃ

会 社 会 士 会 社

かん字を つかった ことばや 文^{ぶん}を 書^かきましょう。

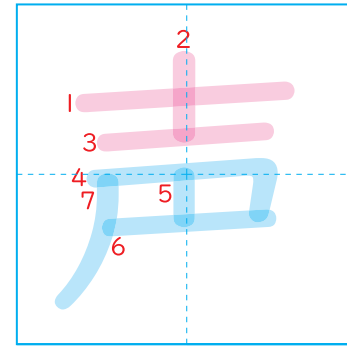


かん字の
れんしゅう 76 「声」

なまえ



ゆっくり ていねいに、わくの 中なかに 書かきましょう。

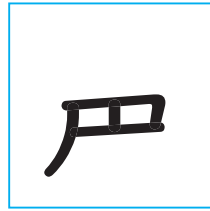


・きれいな

声。こえ



かん字の かけて いる ぶぶんを 書かきましょう。



こえ



かん字を つかった ことばや 文ぶんを 書かきましょう。

Blank area for writing practice.

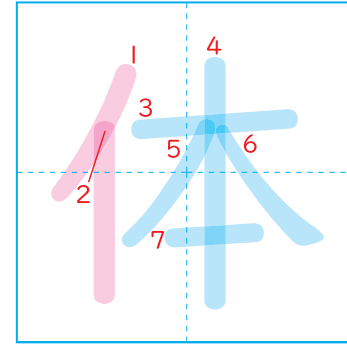


かん字の
れんしゅう 77 「体」

なまえ



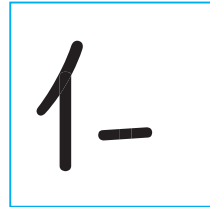
ゆっくり ていねいに、わくの 中^{なか}に 書^かきましょう。



・ 人^{ひと}の 体^{からだ}。
・ 体^{たい}そ^そうを する。



かん字の かけ^て いる ぶん^{ぶん}を 書^かきましょう。



かん字を つかつた ことばや 文^{ぶん}を 書^かきましょう。

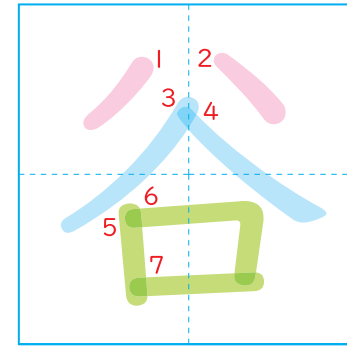


かん字の
れんしゅう 78
「谷」

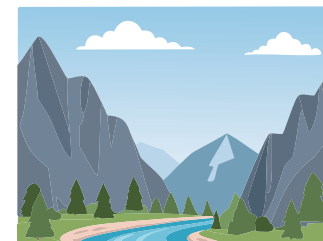
なまえ



ゆっくり
ていねいに、
わくの
中なかに
書かきましょう。



・
谷たにがわの
水みず。



かん字の
たに
かけ
てい
る
ぶぶんを
書かきましょう。

合

川

ハ
口

川

ハ
口

川



かん字を
つかった
ことばや
文ぶんを
書かきましょう。

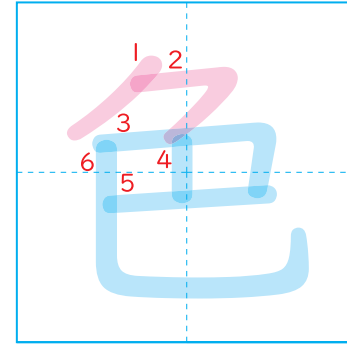


かん字の
れんしゅう 79 「色」

なまえ



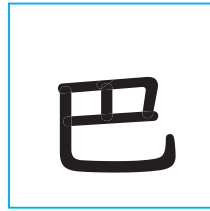
ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましょう。



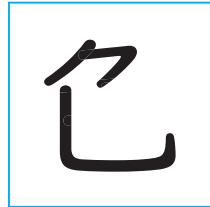
・ いろいろな色。
・ 三色のはた。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましょう。



いろ



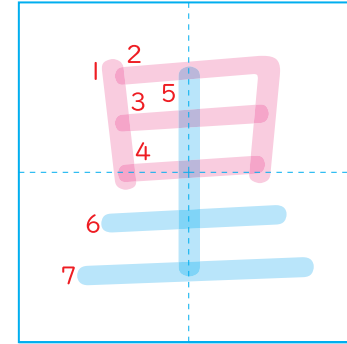
かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましょう。



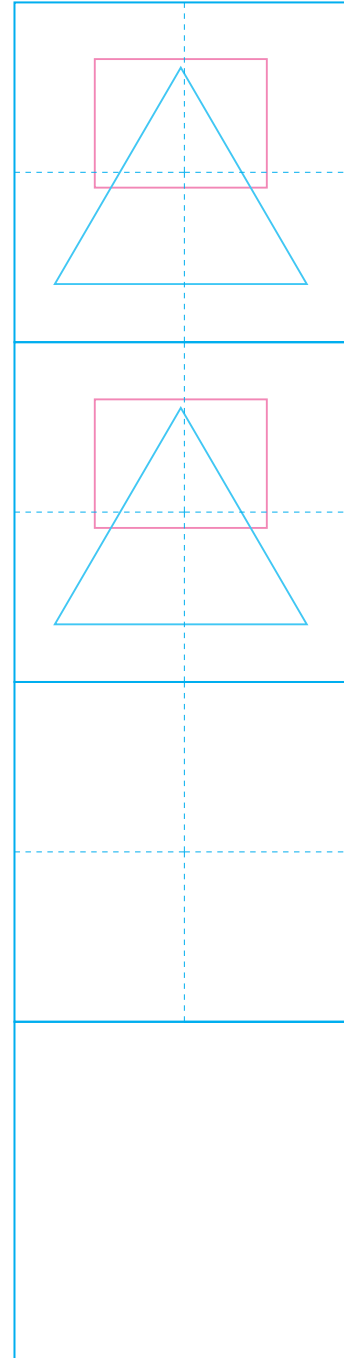
かん字の
れんしゅう 80 「里」

なまえ

ゆっくり ていねいに、わくの 中^{なか}に 書^かきましょう。

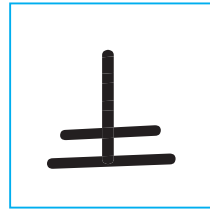


・ 里^{さと}いもを 食^たべる。



かん字の かけて いる ぶぶんを 書^かきましょう。

さと



いも

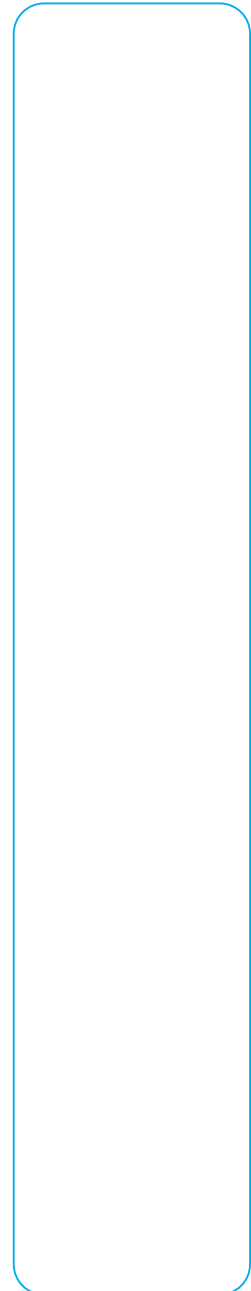


いも



いも

かん字を つかった ことばや 文^{ぶん}を 書^かきましょう。



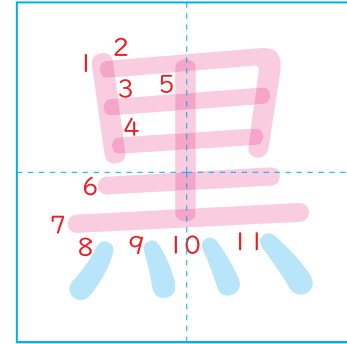


かん字の
れんしゅう 81 「黒」

なまえ



ゆっくり ていねいに、わくの
中に 書きましょう。



・ 黒い 色。

・ 黒ばんに 書く。





かん字の
かけて いる ぶんを 書きましょう。

くろ

示

い

甲

い

里

い



かん字を
つけた ことばや 文を 書きましょう。

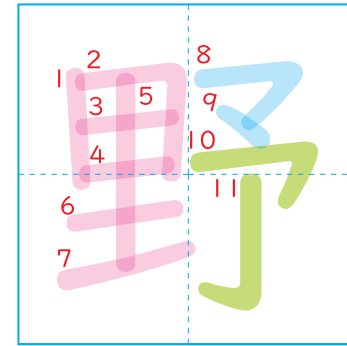
--



かん字の
れんしゅう 82 「野」

なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましょう。



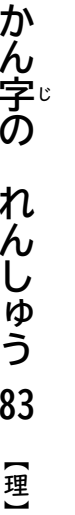
・野^の山^{やま}を^{ある}歩く。
・野^やさいを^た食べる。



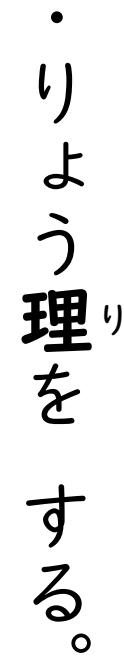
かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましょう。

予
の
山
野
山
野
山

かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましょう。



ゆっくり
ていねいに、
わくの
中^{なか}に
書^かきましょう。



かん^じ字をつかったことばや文^{ぶん}を書^かきました。



١)



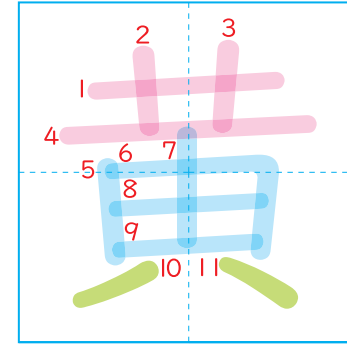
玕



かん字の
れんしゅう 84 「黄」

なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中なかに
書かきましょう。



・
黄きいろ色い

花はな。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書かきましょう。

き
いろ

典

色

共

色

苗

色

かん字を
つけた
ことばや
文ぶんを
書かきましょう。

--

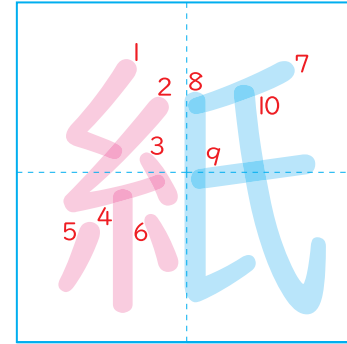


かん字の
れんしゅう 85
【紙】

なまえ

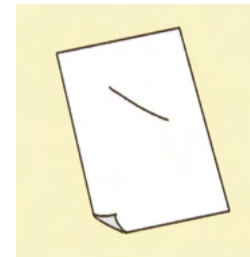


ゆっくり
ていねいに、
わくの
中に
書きましよう。



・
白^{しろ}
い

紙^{かみ}
。





かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましよう。

氏^{かみ}

紙

糸



かん字を
つけた
ことばや
文^{ぶん}を
書きましよう。

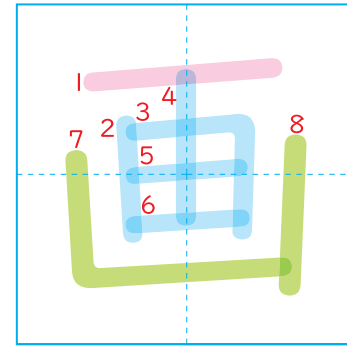
--



かん字の
れんしゅう 86 〔画〕

なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましよう。



・画用紙に
かく。
・五画の
かん字。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましよう。

ご
かく

五

画

五

二

五

画

かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましよう。

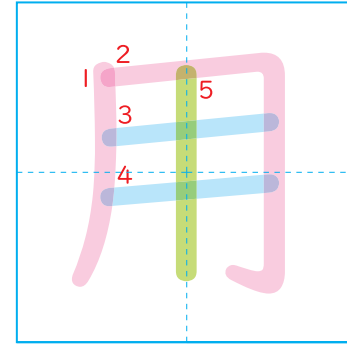


かん字の
れんしゅう 87 「用」

なまえ



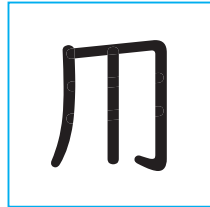
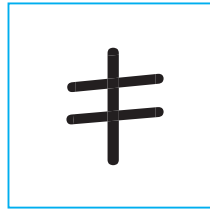
ゆっくり
ていねいに、
わくの
中に
書きましよう。



・
画用紙に
かく。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましよう。



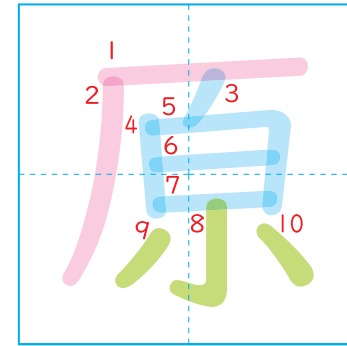
かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましよう。



かん字の
れんしゅう 88
「原」

なまえ

ゆっくり
ていねいに、
わくの
中に
書きましよう。



・ 春のはる
の
・ 広いひろ
い
草原。そうげん
の
野原。の
はら



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましよう。

の
はら

野

泉

野

仄

野

盾

かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましよう。

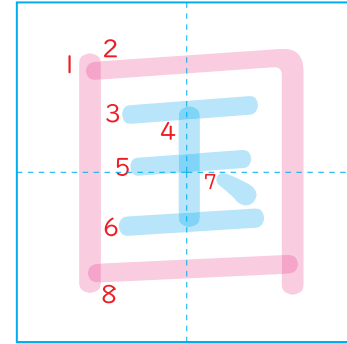


かん字の
れんしゅう 89 国

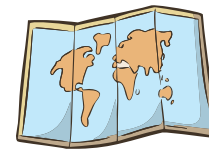
なまえ



ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましよう。



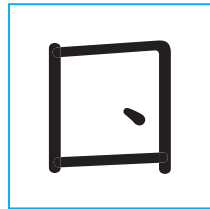
・ いろいろな
国。
・ 外国の
人。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましよう。



くに



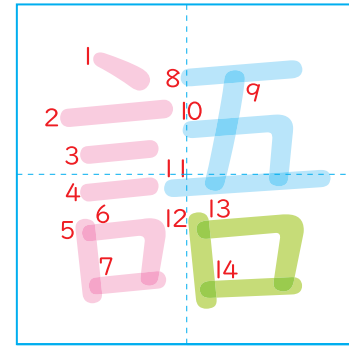
かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましよう。



かん字の
れんしゅう 90 「語」

なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましょう。



・もの
語を
読む。
・国
語の
じゆぎよう。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましょう。

こく
ご

国
五
国
語
国
語

かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましょう。

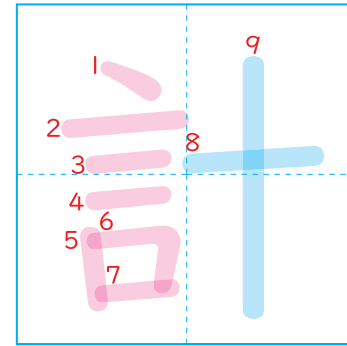


かん字の
れんしゅう 91 「計」

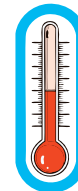
なまえ



ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましょう。



・ おんど計
・ 時間を計る。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましょう。

計

はか

る

計

る

言

る



かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましょう。

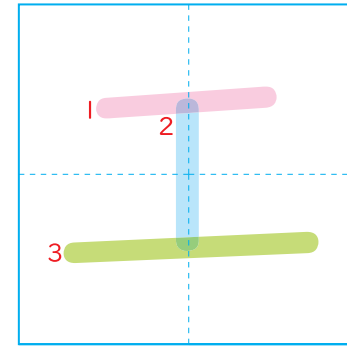


かん字の
れんしゅう 92 「工」

なまえ



ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましよう。

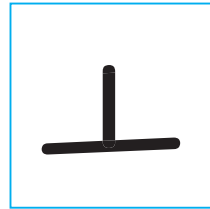


・ 工こうさく作さくを
する。

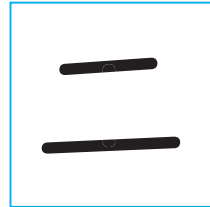
・ 大だい工くさん



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書かきましよう。



作



作



作

こう
さく



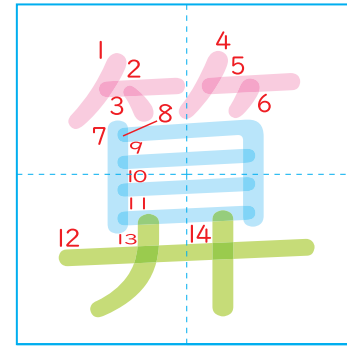
かん字を
つけた
ことばや
文ぶんを
書かきましよう。



かん字の
れんしゅう 93 「算」

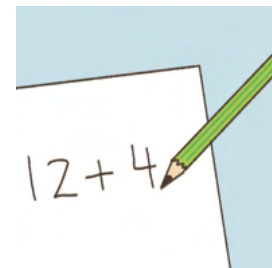
なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましよう。



計算^{けいさん}を
する。

・
たし算^{ざん}



かん字の
かけて
いる
ぶんを
書きましよう。

けい
さん

計

昇

計

々
算

計

算

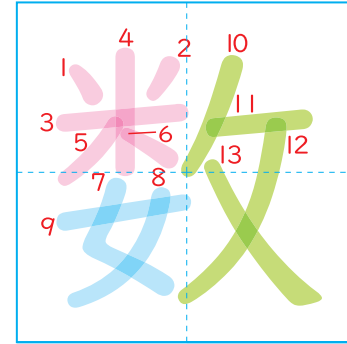
かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましよう。



かん字の
れんしゅう 94 「数」

なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましよう。



・ 数を
数える。

・ 算数の
じゆぎよう。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましよう。

さん
すう

算

数

算

数

算

数

かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましよう。

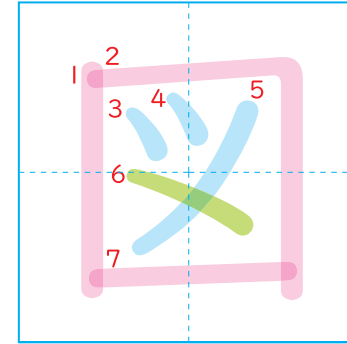


かん字の
れんしゅう 95
【図】

なまえ



ゆっくり
ていねいに、わくの
中なかに
書かきましょう。



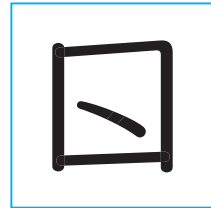
・
図ず工こうの
時じ間かん。



かん字の
かけで
いる
ぶぶんを
書かきましょう。



工



工



工



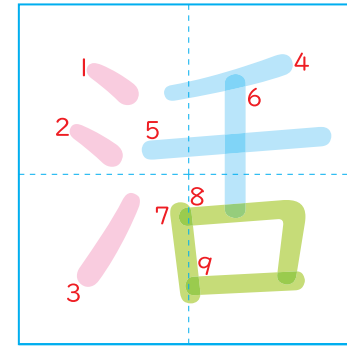
かん字を
つけた
ことばや
文ぶんを
書かきましょう。



かん字の れんしゅう 96 「活」

なまえ

ゆっくり ていねいに、わくの 中に 書きましょう。



・ 毎日の 生活。



かん字の かけて いる ぶんを 書きましょう。

せい かつ

生 舌 生 活 生 汗

かん字を つかった ことばや 文を 書きましょう。

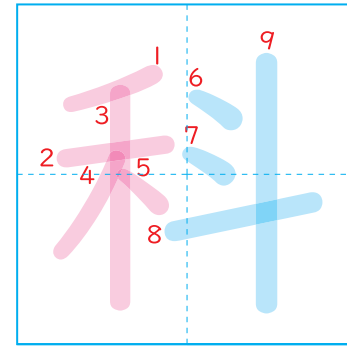


かん字の れんしゅう 97 「科」

なまえ



ゆっくり ていねいに、わくの 中なかに 書かきましょう。



・ 生活せいかつ科かの 教科書きょうかしよ。





かん字の かけて いる ぶんを 書かきましょう。

生 活

せい かつ か

斗

生 活

禾



かん字を つかった ことばや 文ぶんを 書かきましょう。

--

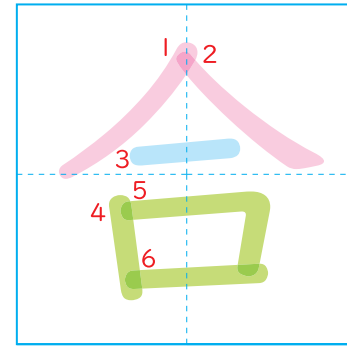


かん字の
れんしゅう 98 「合」

なまえ



ゆっくり ていねいに、わくの 中なかに 書かきましょう。



・ 気きが 合あう。
・ 合ごう計けいの ねだん。



かん字の かけて いる ぶんを 書かきましょう。

合

あ

合

合

う



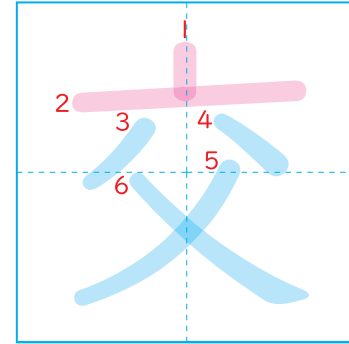
かん字を つかった ことばや 文ぶんを 書かきましょう。



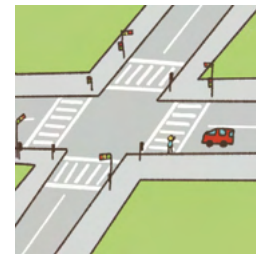
かん字の
れんしゅう 99 「交」

なまえ

ゆっくり ていねいに、わくの 中なかに 書かきましょう。



・ 交こうさ点てんを わたる。
・ 石いしが 交まざる。



かん字の かけて いる ぶんぶんを 書かきましょう。

ま

父ちち ざる
メ ざる
六む ざる

かん字を つかった ことばや 文ぶんを 書かきましょう。

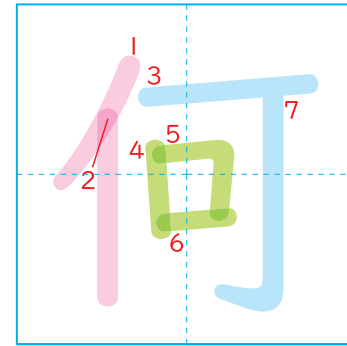


かん字の
れんしゅう 100
「何」

なまえ



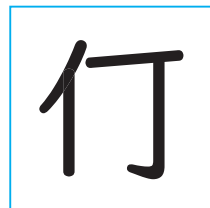
ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましょう。



・何^{なに}も
ない。
・何^{なんにち}日も
まつ。



かん字の
なにかけて
いる
ぶぶんを
書きましょう。



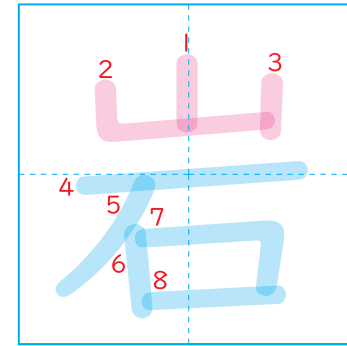
かん字を
つけた
ことばや
文^{ぶん}を
書きましょう。



かん字の
れんしゅう 101
「岩」

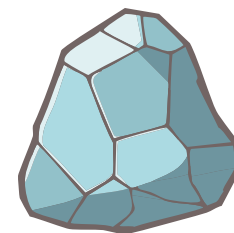
なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましょう。

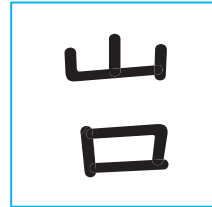


・
大きな

岩。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましょう。



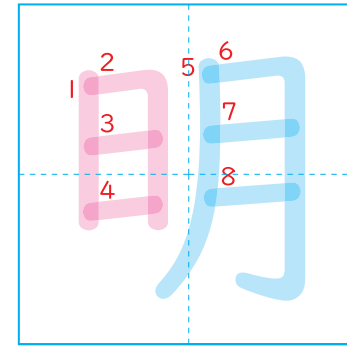
かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましょう。



かん字の
れんしゅう 102
「明」

なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましよう。



・
明
る
い
へ
や。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましよう。

あか

月

る
い

日＝

る
い

明

る
い

かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましよう。

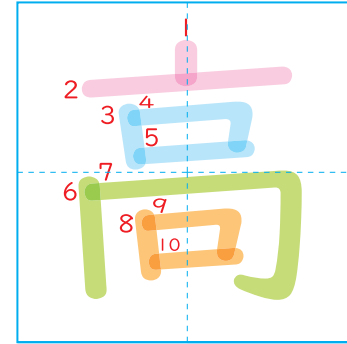


かん字の
れんしゅう 103
【高】

なまえ



ゆっくり
ていねいに、
わくの
中に
書きましよう。



・
高い
たてもの。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましよう。

たか

高

い

高

い

古

い



かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましよう。

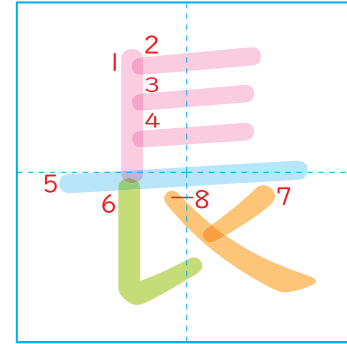


かん字の
れんしゅう 104
「長」

なまえ



ゆっくり ていねいに、わくの 中^{なか}に 書^かきましょう。



・ 長^{なが}い しっぽ。

・ お店^{みせ}の 店長^{てんちやう}。



かん字の かけて いる ぶぶんを 書^かきましょう。

長

なが

い

長

い

長

い



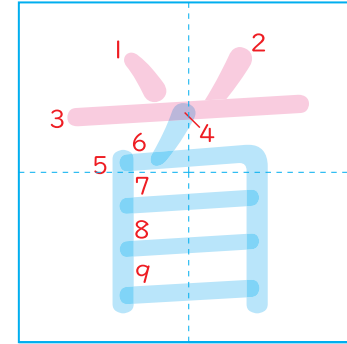
かん字を つかった ことばや 文^{ぶん}を 書^かきましょう。



かん字の
れんしゅう 105
「首」

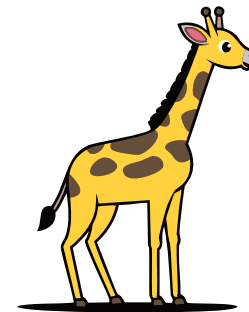
なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましょう。



・きりんの

首。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましょう。

百

くび

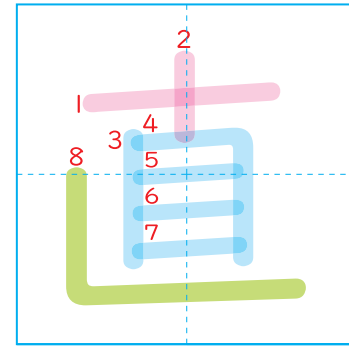
首

一

かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましょう。



ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましよう。

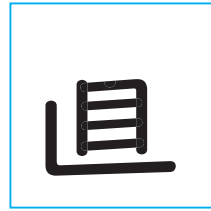


・ まちがいを
直す。

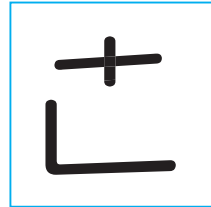
・ 日直の
しごと。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましよう。



す



す



す



かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましよう。

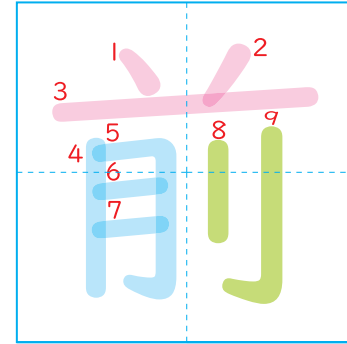


かん字の
れんしゅう 107 「前」

なまえ



ゆっくり ていねいに、わくの 中^{なか}に 書^かきましょう。



・ 前^{まえ}を 見^みる。

・ テストの 前^{ぜん}日^{じつ}。



かん字の かけて いる ぶぶんを 書^かきましょう。



まえ



かん字を つかった ことばや 文^{ぶん}を 書^かきましょう。

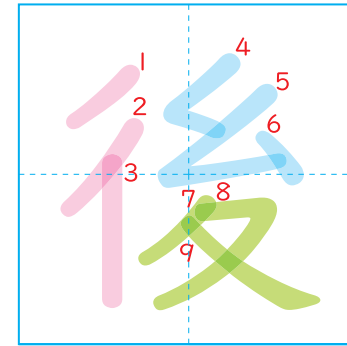
Blank area for writing practice.



かん字の
れんしゅう 108 「後」

なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましよう。



- ・ 後^{あと}かたづけをする。
- ・ 前^{ぜん}後^ごを
見る^み。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましよう。

後

あと

後

後

かん字を
つけた
ことばや
文^{ぶん}を
書きましよう。

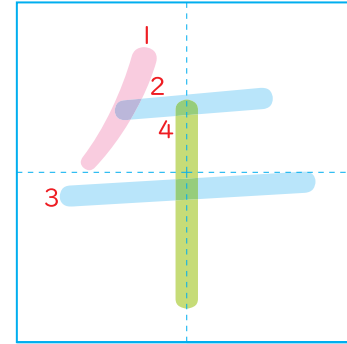


かん字の
れんしゅう 109
「年」

なまえ



ゆっくり
ていねいに、わくの
中なかに
書かきましょう。



・午前中ごぜんちゅうの
天気てんき。



かん字の
かけで
いる
ぶんぶんを
書かきましょう。

干

ご
ぜん

前

一

前

二

前



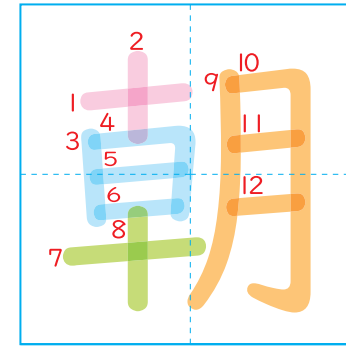
かん字を
つけた
ことばや
文ぶんを
書かきましょう。



かん字の
れんしゅう 110
【朝】

なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましょう。



・朝ごはん
あさ
・朝食
ちようしよく



朝	
月	
卓	

かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましょう。

あさ

朝

月

卓

かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましょう。

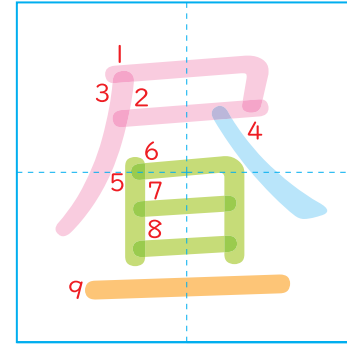


かん字の
れんしゅう 111 「昼」

なまえ



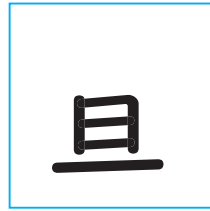
ゆっくり
ていねいに、わくの
中なかに
書かきましょう。



・ 昼ひるごはん
・ 昼食ちゅうしょく



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書かきましょう。



ひる



かん字を
つけた
ことばや
文ぶんを
書かきましょう。

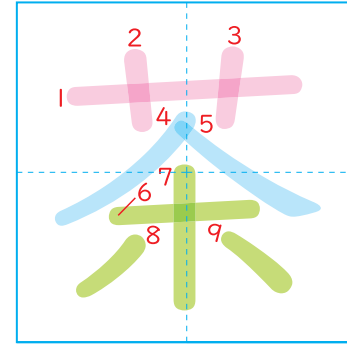


かん字の
れんしゅう 113
「茶」

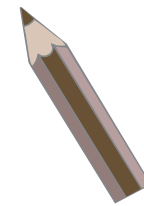
なまえ



ゆっくり
ていねいに、
わくの
中なかに
書かきましょう。



・茶色ちやいろの
色いろえんぴつ。





かん字の
かけ
て
い
る
ぶ
ぶ
ん
を
書かき
ま
し
よ
う。

ちや
いろ

余色

茶色

茶色

色



かん字を
つか
った
こと
ば
や
文ぶんを
書かき
ま
し
よ
う。

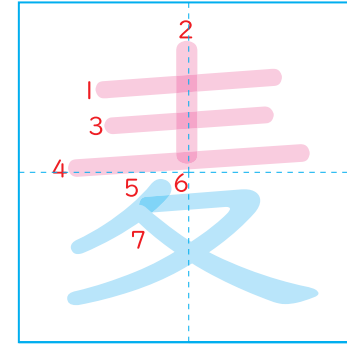
--



かん字の れんしゅう 114 「麦」

なまえ

ゆっくり ていねいに、わくの 中^{なか}に 書^かきましょう。



・ 麦^{むぎ}茶^{ちや}を のむ。



かん字の かけて いる め^めめ^めんを 書^かきましょう。

むぎ ちや

又 茶 麦 茶 麦 茶

かん字を つかった ことばや 文^{ぶん}を 書^かきましょう。

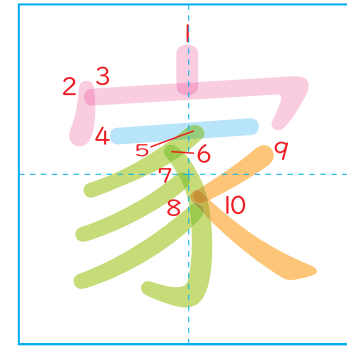
--



かん字の
れんしゅう 115 「家」

なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましよう。



・ 家に帰る。

・ 三人家族



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましよう。

豕

いえ

家

宀

かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましよう。

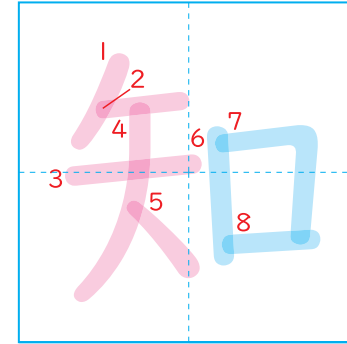


かん字の
れんしゅう 116
「知」

なまえ



ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましよう。



・ 先生に
知らせる。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましよう。

知^し

る

く^く口

る

矢

る



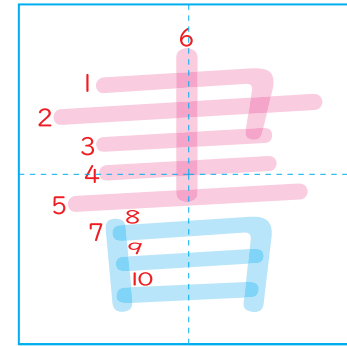
かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましよう。



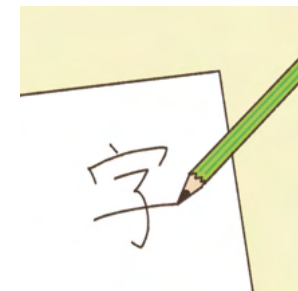
かん字の
れんしゅう 117 「書」

なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましよう。



- かん字を
書く。
- 本の
書名。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましよう。

か

青

く

言

く

書

く

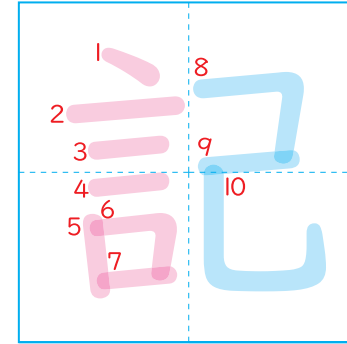
かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましよう。



かん字の
れんしゅう 118
【記】

なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましよう。



・
日記を
書く。



かん字の
につ
かけて
いる
ぶんぶんを
書きましよう。

につ
き

日
記
日
記
日
記
日
記

かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましよう。

--

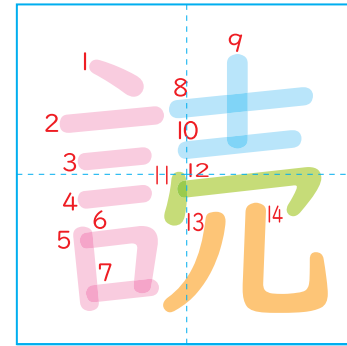


かん字の
れんしゅう 119 「読」

なまえ



ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましよう。



・本^{ほん}を
読^よむ。

・読^{どくしよ}書^{しよ}を
する。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書^かきましよう。

売

よ

む

読

む

読

む



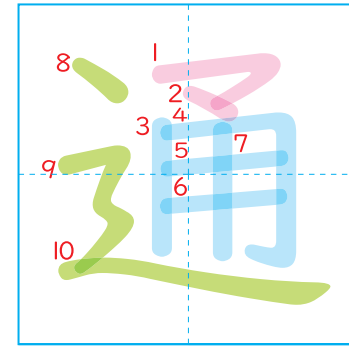
かん字を
つけた
ことばや
文^{ぶん}を
書^かきましよう。



かん字の れんしゅう 120 「通」

なまえ

ゆっくり ていねいに、わくの 中^{なか}に 書^かきましょう。



・ 人^{ひと}が 通^{とお}る。
・ 学^が校^{っこう}に 通^{かよ}う。



かん字の かけて いる ぶぶんを 書^かきましょう。

とお

通

る

通

る

通

る

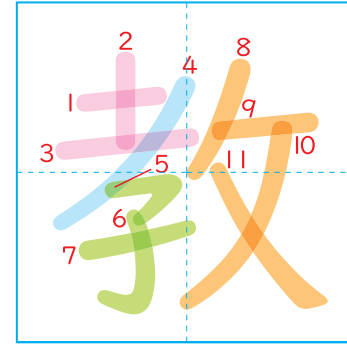
かん字を つかった ことばや 文^{ぶん}を 書^かきましょう。



かん字の
れんしゅう 121 「教」

なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましょう。



- かん字を教える。
- いろいろな教科。



かん字の
かけて
いる
ぶんぶんを
書きましょう。

おし

教
える
教
える
孝
える

かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましょう。

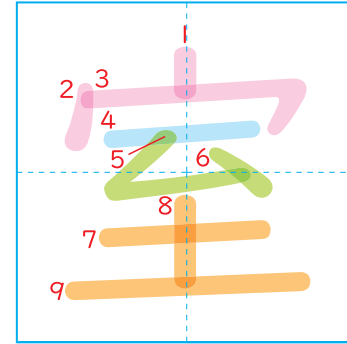


かん字の
れんしゅう 122
「室」

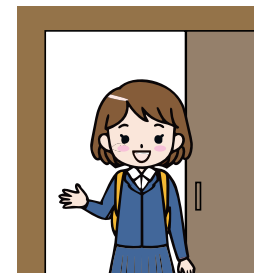
なまえ



ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましょう。



・
教室
に
入る。





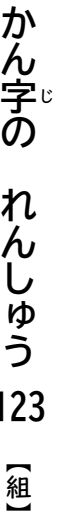
かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましょう。

きょう
しつ

教
至
教
宍
教
宏



かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましょう。



ゆっくり
ていねいに、
わくの
中^{なか}に
書^かきましょう。

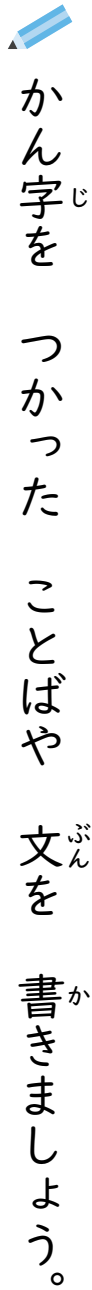


いちくみ



糸

組

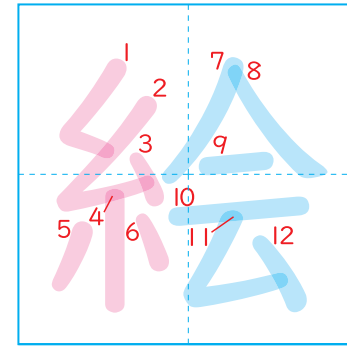




かん字の
れんしゅう 124
「絵」

なまえ

ゆっくり
ていねいに、
わくの
中に
書きましよう。



・
絵を
見る。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましよう。

会 え

絵

人

かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましよう。

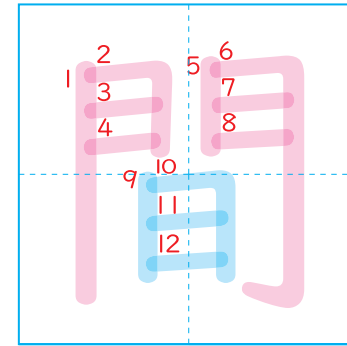
--



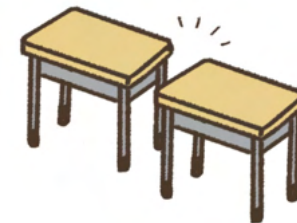
かん字の
れんしゅう 125
「間」

なまえ

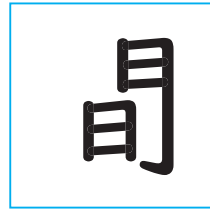
ゆっくり ていねいに、わくの 中^{なか}に 書^かきましょう。



・ つくえの 間^{あいだ}。
・ 人^{にん}間^{げん}の 体^{からだ}。



かん字の かけて いる ぶんを 書^かきましょう。



あいだ

かん字を つかった ことばや 文^{ぶん}を 書^かきましょう。

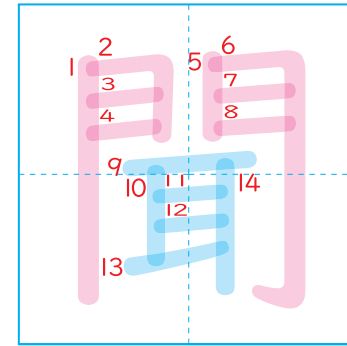
--



かん字の
れんしゅう 126
「聞」

なまえ

ゆっくり ていねいに、わくの 中^{なか}に 書^かきましょう。



・ はなし
話を 聞^きく。



かん字の かけて いる ぶんを 書^かきましょう。

聞^き
く
聞^き
く
門^{かど}
く

かん字を つかった ことばや 文^{ぶん}を 書^かきましょう。

--

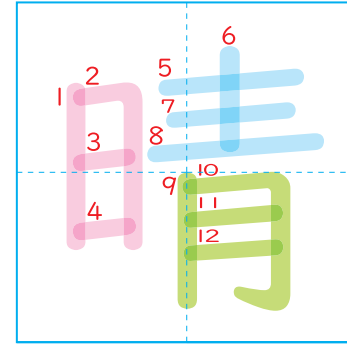


かん字の
れんしゅう 127 「晴」

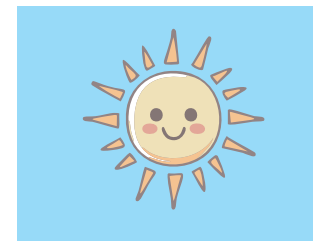
なまえ



ゆっくり ていねいに、わくの 中^{なか}に 書^かきましょう。



・ あしたは 晴^はれる。
・ 晴^{せい}天^{てん}に なる。





かん字の かけて いる ぶんを 書^かきましょう。

青

れる

日

れる

晴

れる

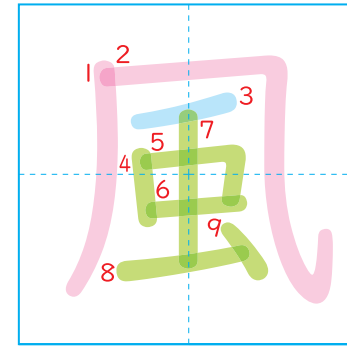


かん字を つかった ことばや 文^{ぶん}を 書^かきましょう。

--



ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましょう。



・ 風が
ふく。
・ 大きな
風車。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましょう。

虫

風

凡

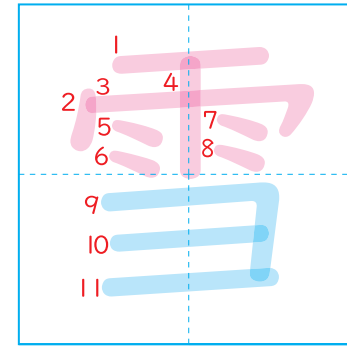
かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましょう。



かん字の
れんしゅう 129
【雪】

なまえ

ゆっくり
ていねいに、
わくの
中に
書きましよう。



雪が
ふる。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましよう。



ゆき



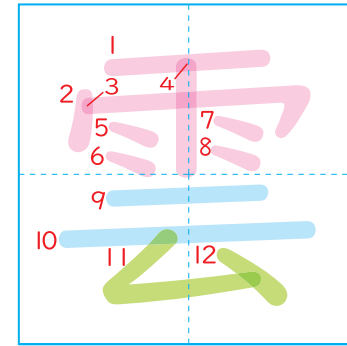
かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましよう。



かん字の
れんしゅう 130
【雲】

なまえ

ゆっくり
ていねいに、
わくの
中に
書きましよう。



・
白^{しろ}
い
雲^{くも}。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましよう。

くも

云

雲

雲

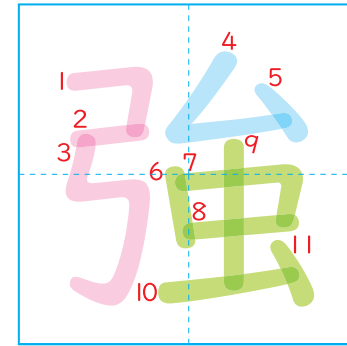
かん字を
つけた
ことばや
文^{ぶん}を
書きましよう。



かん字の
れんしゅう 131 「強」

なまえ

ゆっくり ていねいに、わくの 中なかに 書かきましょう。



・ 風かぜが 強つよい。
・ ベン強きょうを する。



かん字の かけて いる ぶんぶんを 書かきましょう。

虫つよ
い
強
い
強
い

かん字を つかった ことばや 文ぶんを 書かきましょう。

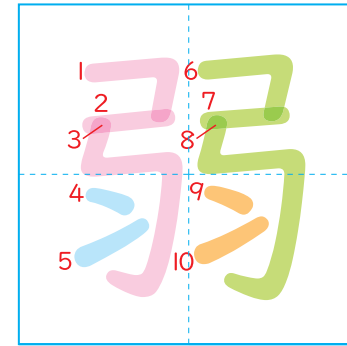
--



かん字の
れんしゅう 132
【弱】

なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましよう。



・ 風^{かぜ}が
弱^{よわ}い。

・ 強^{きやう}弱^{じやく}を
つける。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書^かきましよう。

よわ

弱

い

弱

い

弱

い

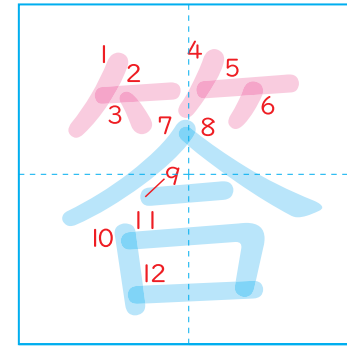
かん字を
つけた
ことばや
文^{ぶん}を
書^かきましよう。



かん字の
れんしゅう 133
「答」

なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましよう。



・
答^{こた}えを
言^いう。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書^かきましよう。

こた

合
え
々々
口
え
々々
え

かん字を
つけた
ことばや
文^{ぶん}を
書^かきましよう。

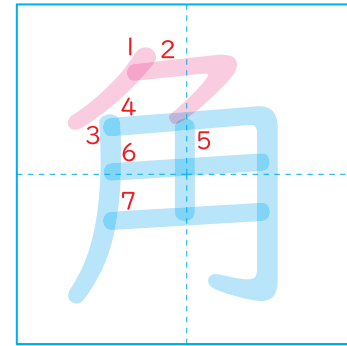


かん字の
れんしゅう 134
「角」

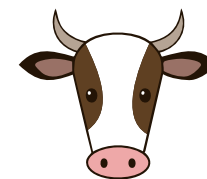
なまえ



ゆっくり
ていねいに、
わくの
中に
書きましょう。



・道の
まがり角。
・牛の
角。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましょう。

用

二

角



かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましょう。

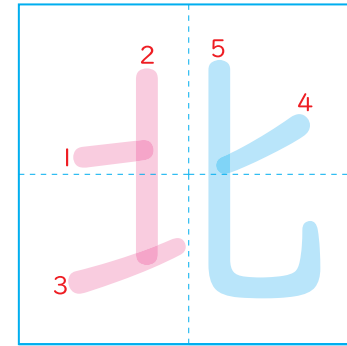


かん字じの
れんしゅう
135
【北】

なまえ



ゆっくり
ていねいに、
わくの
中^{なか}に
書^かきましょう。

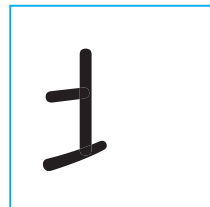
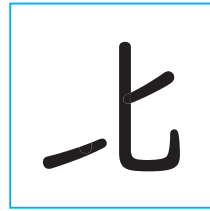


●
北きた
の

方角。 ほうかく



かん字じの
かけて
いる
ぶぶんを
書きかましよう。



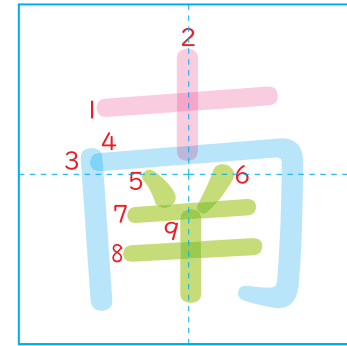
かん字^じをつかったことばや文^{ぶん}を書^かきました。



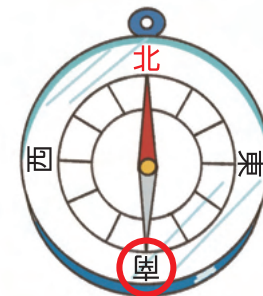
かん字の
れんしゅう 136
【南】

なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましょう。



・
南の
方角。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましょう。

みなみ



かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましょう。

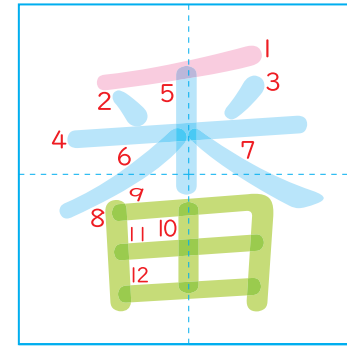
--



かん字の
れんしゅう 139
「番」

なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましょう。



・そうじ
当番



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましょう。

とう
ばん

当
番
当
一
田
当
采

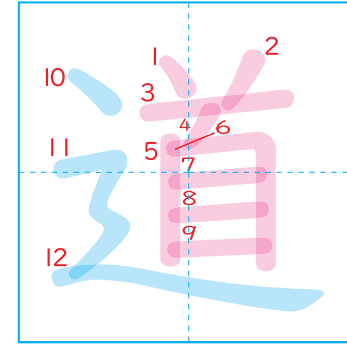
かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましょう。



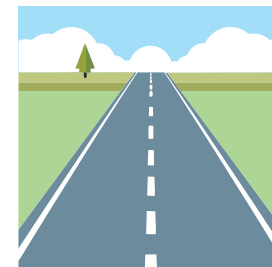
かん字の
れんしゅう 140
「道」

なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましょう。



- ・ 広い
道。
- ・ 歩道を
歩く。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましょう。

追

みち

道

首

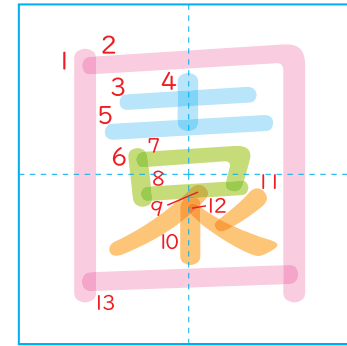
かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましょう。



かん字の
れんしゅう 141
【園】

なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましよう。



・
どうぶつ
園



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましよう。

どうぶつ

東

どうぶつ

園

どうぶつ

周

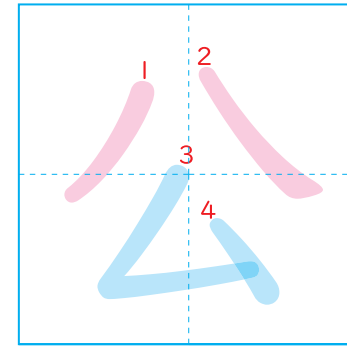
かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましよう。



かん字の れんしゅう 142 「公」

なまえ

ゆっくり ていねいに、わくの 中^{なか}に 書^かきましょう。



・ 公^{こうえん}園^{えん}に 行^いく。



かん字の かけて いる ぶぶんを 書^かきましょう。

こう えん

ム 園 八 園 公 園

かん字を つかった ことばや 文^{ぶん}を 書^かきましょう。

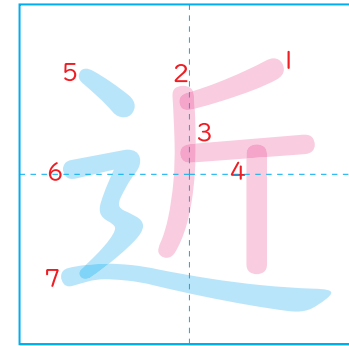
--



かん字の
れんしゅう 143
「近」

なまえ

ゆっくり ていねいに、わくの 中^{なか}に 書^かきましょう。



・せきが

近^{ちか}い。



かん字の かけて いる ぶんを 書^かきましょう。

ちか

近

い

近

い

斤

い

かん字を つかった ことばや 文^{ぶん}を 書^かきましょう。

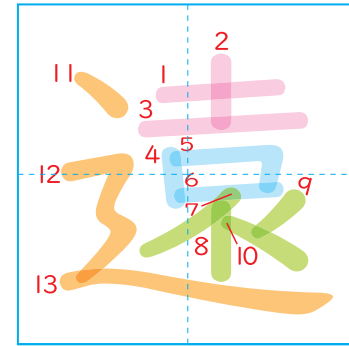
--



かん字の
れんしゅう 144
「遠」

なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましょう。



・せきが
遠い。
・春の
遠足。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましょう。

遅い

迷い

袁い

かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましょう。

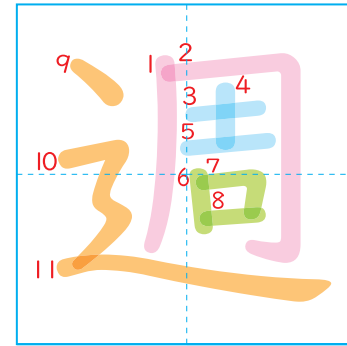


かん字の れんしゅう 145 〔週〕

なまえ



ゆっくり ていねいに、わくの 中^{なか}に 書^かきましょう。



・ いっしゅうかん
一週間の よてい。

月	ちょうれい
火	
水	えんそく
木	
金	
土	うんどうかい
日	



かん字の かけて いる ぶんを 書^かきましょう。

一 週 間



かん字を つかった ことばや 文^{ぶん}を 書^かきましょう。

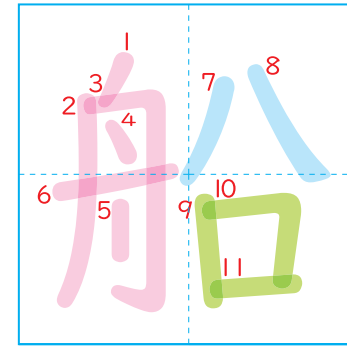
--



かん字の
れんしゅう 146
【船】

なまえ

ゆっくり
ていねいに、
わくの
中に
書きましよう。



・ 赤い
・ 船にのる。
風船。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましよう。

台
ふね

船口

船ハ

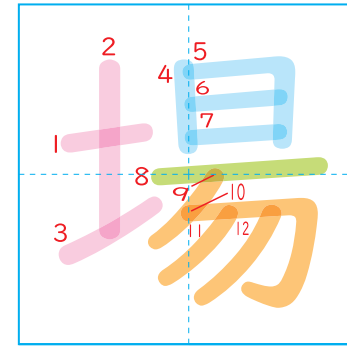
かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましよう。



かん字の
れんしゅう 147 「場」

なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましよう。



- 公園のすな場。
こうえん
- 工場見学
こうじようけんがく



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましよう。

ば

すな

易

すな

場

すな

場

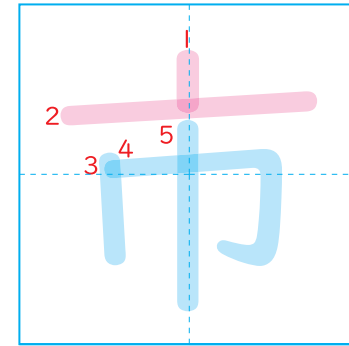
かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましよう。



かん字の
れんしゅう 148
「市」

なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましょう。



・ 市場の
魚。
・ 市長が
来る。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましょう。

いち
ば

巾
場
十
場
市
場

かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましょう。

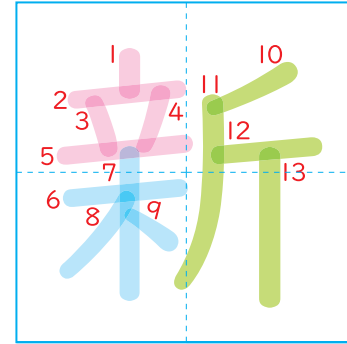


かん字の
れんしゅう 149
【新】

なまえ



ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましよう。



あた

新しい
くつ。

しんねん

新年の
あいさつ。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましよう。

あた

析

しい

析

しい

亲

しい



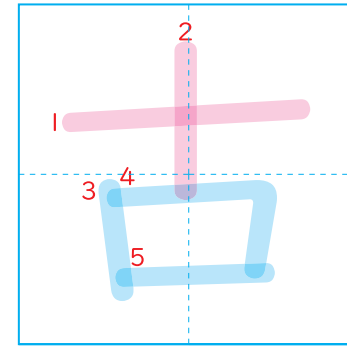
かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましよう。



かん字の
れんしゅう 150
「吉」

なまえ

ゆっくり
ていねいに、
わくの
中に
書きましよう。

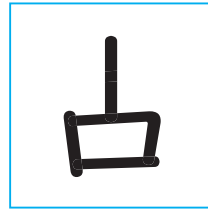


・
古い
本。

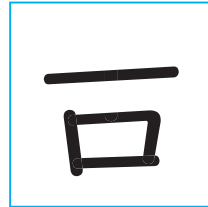


かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましよう。

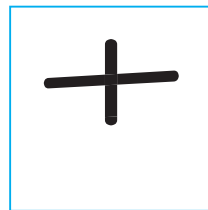
ふる



い



い



い

かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましよう。

--

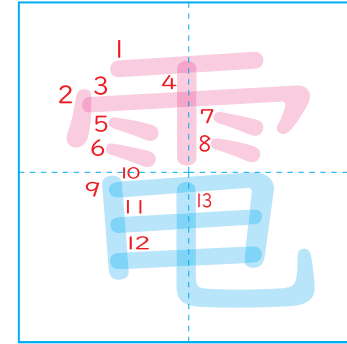


かん字じの
れんしゅう
151
【電】

なまえ



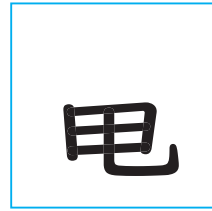
ゆっくり
ていねいに、
わくの
中^{なか}に
書^かきました。



でんしゃ
電車にのる。



かん字じの
かけて
いる
ぶぶんを
書かきましよう。



かん字^じをつかったことばや文^{ぶん}を書^かきましょう。

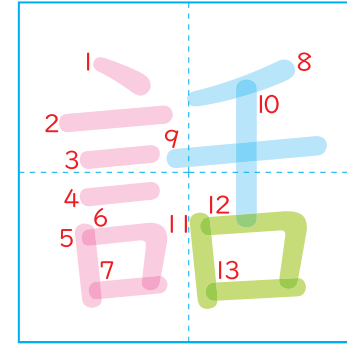


かん字の
れんしゅう 152
「話」

なまえ



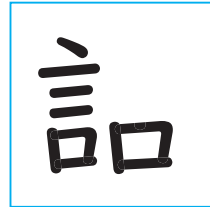
ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましょう。



・おもしろい
話。
・電話で
話す。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましょう。



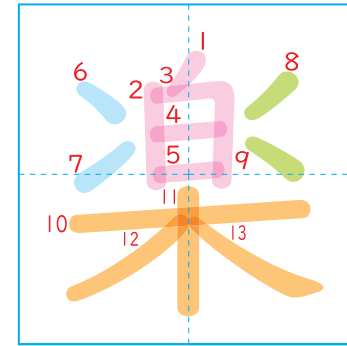
かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましょう。



かん字の
れんしゅう 153
「楽」

なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましょう。



・ 楽^{たの}しい
・ 音楽^{おんがく}の
時間^{じかん}。
話^{はなし}。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましょう。

たの

楽^{たの}しい
楽^{たの}しい
楽^{たの}しい

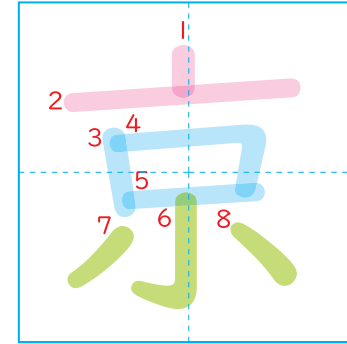
かん字を
つけた
ことばや
文^{ぶん}を
書きましょう。



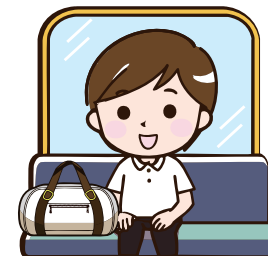
かん字の
れんしゅう 154
「京」

なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましょう。



・
東京
に
行く。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましょう。

とう
きよう

東
京
東
上
東
古

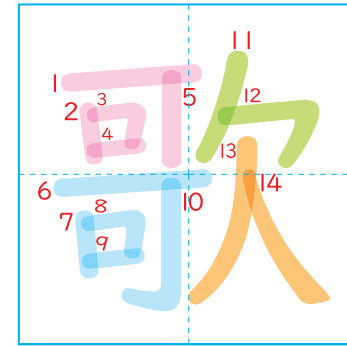
かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましょう。



かん字の
れんしゅう 155
「歌」

なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましょう。



・歌を
歌う。

・校歌を
おぼえる。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましょう。

歌

うた

歌人

哥

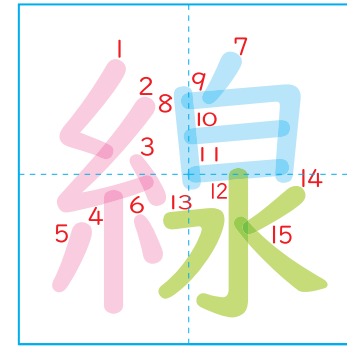
かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましょう。



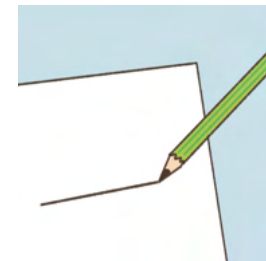
かん字の
れんしゅう 156
「線」

なまえ

ゆっくり
ていねいに、
わくの
中に
書きましよう。



・
線を
引く。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましよう。

せん
泉

線水

線白

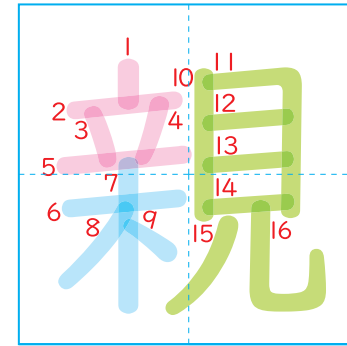
かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましよう。



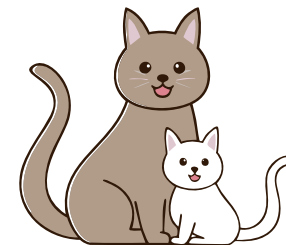
かん字の
れんしゅう 157
「親」

なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましょう。



・ 親^{した}しい
・ ねこの 親^{おやこ}子。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましょう。

おや
こ

親
子
親
子
親
子

かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましょう。

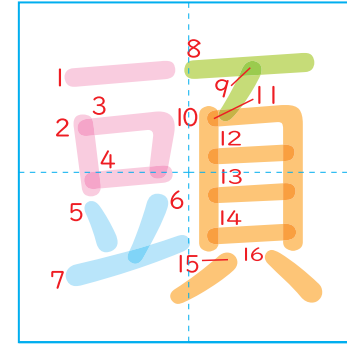


かん字の
れんしゅう 158
「頭」

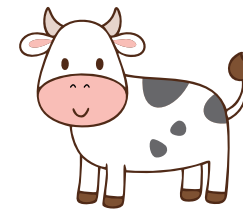
なまえ



ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましよう。



・ 頭の
上。
・ 一頭の
牛。



かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましよう。



かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましよう。

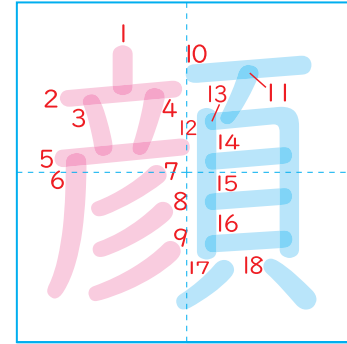


かん字の
れんしゅう 159
「顔」

なまえ



ゆっくり
ていねいに、
わくの
中なかに
書かきましょう。



・
顔かおを
あらう。



かん字の
かけで
いる
ぶぶんを
書かきましょう。

頃

頃

彦



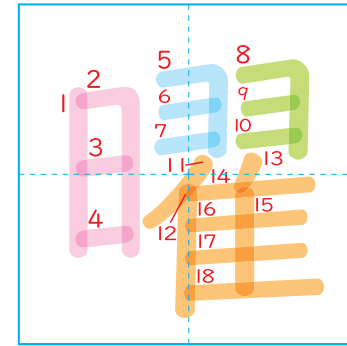
かん字を
つけた
ことばや
文ぶんを
書かきましょう。



かん字の
れんしゅう 160
「曜」

なまえ

ゆっくり
ていねいに、わくの
中に
書きましよう。



・
日曜
日にちようび

9月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

かん字の
かけて
いる
ぶぶんを
書きましよう。

にち
よう

日

曜

日

曜

日

曜

かん字を
つけた
ことばや
文を
書きましよう。